

令和 3 年度（2021年度）

履 修 の 手 引

新 潟 大 学 理 学 部

目 次

1	入学にあたって-----	1
2	新潟大学理学部規程-----	2
3	新潟大学における授業科目の区分等に関する規則-----	16
4	履修の心得-----	18
5	教育職員免許状の取得について-----	25
6	学芸員の資格取得について-----	30
7	理学部の組織-----	31
8	大学院の組織-----	31
9	自然科学研究科の構成-----	32
10	教 授 会-----	33
11	事 務-----	33
12	理学部主専攻プログラム関係教員一覧 -----	34
13	理学部講義室等案内図-----	35
14	理学部周辺案内図-----	40

1. 入学にあたって

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。新潟大学理学部は、皆さんの入学を心から歓迎いたします。理学部での教育研究の本分は真理の探究にあります。皆さんはこれから、自らの専門分野を選択し、各分野で真理の探究に取り組むための基礎学力を涵養します。さらに、確たる方法論を習得した後は、与えられた課題を通じて、数理や自然科学の未踏の領域に挑むことになります。

この「履修の手引」は、皆さんが理学部での学修活動を有意義かつ円滑に行うために用意された小冊子です。卒業まで折に触れて参照する必要がある事柄が簡潔にまとめられていますが、年度によって記載内容の変更がありますので、必ず自らの入学年度の版を参照するようにしてください。特に、5 頁から 15 頁の表には、主専攻プログラム配属や卒業のために履修が必要な科目や単位数などが示されており、よく理解しておく必要があります。

大学での学修活動では、自らの選択を求められる機会が多くあります。入学早々の学修計画の立案もその一つです。自分の将来を見据えて学修の目標を定め、その目標を達成できるよう自分で計画し、それを実行していくことが求められます。将来の進路を見据えるのは容易なことではありませんが、その時々で見聞を深めて軌道修正しながらも、自己の基盤と方向性を確立し、卒業時にはすべての皆さんが、これからの人生を切り開いていくことができる能力を身につけていることを期待します。

大学教育は、大きな変革期にあります。本学では 4 年前から基本的に 4 学期制（クォーター制）を採用しており、多くの科目が週 2 回の頻度で開講されています。また、従前より授業時間の倍の時間を予習・復習に充てることが求められていますが、アクティブ・ラーニングの推進に伴って、講義科目においても反転授業を導入する事例が増加するなど、授業時間外に求められる学習時間が増大する傾向にあります。さらに、昨年度から非対面の授業形態が基本となっていることもあり、レポート課題が増加する傾向もあります。したがって、授業時間外での学習時間を十分に確保し、無理のない学修計画を立ててください。学修計画の立案にあたっての疑問は、クラス相談員やプログラム相談員（20 頁参照、プログラム配属後は主専攻相談員）に遠慮なく申し出てください。

理学部では、各分野の専門教育に加えて、キャリア教育を重視しています。正規科目としてインターンシップ実習を用意しているほか、「科学・技術と社会」や「新素材の物性」などの専門科目や理学部コロキウムにおいて、研究者などの実務家教員による講義や卒業生による講演を聴く機会を設けています。これらは、自らの専門がどのように社会に活かされているか、活かすことができるかを学ぶ良い機会です。理学部の卒業生は過半数が大学院に進学しますが、大学院修了後の就職も見据えて、これらの機会を積極的に活用し、進路の選択に役立てて頂きたいと思います。

理学部長 大 鳥 範 和

2. 新潟大学理学部規程

(趣旨)

第1条 新潟大学理学部（以下「本学部」という。）の教育課程の編成，学生の履修方法，卒業の要件等に関し必要な事項については，新潟大学学則（平成16年学則第1号。以下「学則」という。）に定めるもののほか，この規程の定めるところによる。

(本学部の教育研究の目的)

第1条の2 本学部は，数学と自然科学の基礎研究に基づき，基礎的な専門知識と深い教養を備え，課題探究能力と総合的判断力及び国際性，社会性を身につけた人材を育成することを目的とする。

(学科)

第2条 本学部に，理学科を置く。

(主専攻プログラム)

第3条 理学科に，次の主専攻プログラムを設ける。

数学プログラム

物理学プログラム

化学プログラム

生物学プログラム

地質科学プログラム

自然環境科学プログラム

フィールド科学人材育成プログラム

- 2 数学プログラム，物理学プログラム，化学プログラム，生物学プログラム及び地質科学プログラムは，主専攻専門科目を体系的に学修することによって課題解決能力を育成する履修体系の専門力プログラム（以下「専門力プログラム」という。）と，主専攻専門科目と関連する他主専攻専門科目を組み合わせ学修することによって課題解決能力を育成する履修体系の総合力プログラムにより教育を行う。
- 3 自然環境科学プログラムは，専門力プログラムにより教育を行う。
- 4 フィールド科学人材育成プログラムは，主専攻専門科目を体系的に学修することによってフィールドに関連する諸問題に対する実践的課題解決能力を育成する履修体系により教育を行う。
- 5 18ヶ月以上在学し，別に定める主専攻プログラム選択要件を満たした学生は，第1項の主専攻プログラムのうちのいずれか一つを選択するものとする。
- 6 学生が履修する主専攻プログラムの決定方法は，別に定める。

(教育課程)

第4条 本学部の教育課程は，教養教育に関する授業科目及び専門教育に関する授業科目により編成するものとする。

- 2 専門教育に関する授業科目は，必修科目，選択科目及び自由科目に分ける。

(履修方法)

第5条 学生は，別表第1の定めるところにより，教養教育に関する授業科目及び専門教育に関する授業科目について，124単位以上を修得しなければならない。

- 2 別表第1に規定する教養教育に関する授業科目の科目区分等及びその科目区分等に基づく授業科目は、新潟大学における授業科目の区分等に関する規則（平成16年規則第38号。以下「授業科目の区分等規則」という。）の定めるところによる。
- 3 外国人留学生等が、授業科目の区分等規則別表に規定する科目区分の、留学生基本科目に属する授業科目を履修し、その単位を修得したときは、日本語の授業科目については4単位までを英語又は初修外国語に属する一つの外国語の授業科目の単位に、日本事情の授業科目については4単位までを自然科学又は人文社会・教育科学に属する授業科目の単位に代えることができる。
- 4 別表第1に規定する専門教育に関する授業科目及びその単位数は、別表第2に定めるところによる。
（履修手続）

第6条 学生は、学期の始めに履修しようとする授業科目を選択し、その授業科目の担当教員の承認を得なければならない。

- 2 学生が各学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は、別に定める。
（授業科目の修了の認定及び評価）

第7条 授業科目の修了の認定及び評価は、授業科目の区分等規則の定めるところによる。

2 授業科目の修了の認定は、試験により行うことを原則とし、出席状況、平常の学習状況その他を加味することができるものとする。

- 3 前項の規定にかかわらず、実験、実習及び実技に係る授業科目については、平常の学習状況の評価をもって試験に代えることができる。

（試験）

第8条 前条第2項に規定する試験は、学期末又は試験の対象となる授業科目が開講されるターム末（以下「学期末等」という。）に行うものとする。ただし、不定期に開設する授業科目及び特別の事情により学期末等に試験を行うことができない授業科目については、この限りでない。

- 2 試験における不正行為により懲戒処分を受けた学生に対しては、不正行為を行った科目は不合格（0点）とし、それ以外の当該学期の履修登録科目は、すべて履修取消とする。

（追試験）

第9条 病気その他やむを得ない理由により試験を受けることができない学生については、本人の願い出により、追試験を行うことができる。

- 2 前項の追試験の願い出、評価等については、別に定める。

（再試験）

第10条 教養教育に関する授業科目及び専門教育に関する授業科目について、卒年次学生で1科目（外国人留学生等である場合は2科目）不合格のため、卒業できない学生については本人の願い出により、再試験を行うことができる。

（教員の免許状）

第11条 本学部において、取得することができる教員の免許状の種類及び免許教科は、次の表に掲げるとおりとする。

学科	教員の免許状の種類（免許教科）
理学科	中学校教諭1種免許状（数学，理科）
	高等学校教諭1種免許状（数学，理科）

(卒業)

第12条 本学部に通算4年以上在学し、かつ、第5条第1項に規定する所定の単位を修得した学生の卒業の認定は、教授会の議を経て、学長が行う。

(編入学及び再入学)

第13条 学則第62条第1項及び第2項並びに第63条の規定による編入学又は再入学を志願する者に対する選考については、別に定める。

2 前項の規定により入学を許可された者の既に修得した単位の取扱い及び在学期間の通算の認定については、教授会が行う。

(転部及び転入学)

第14条 学則第64条の規定による転部又は転入学を志願する者に対する選考については、別に定める。

2 前項の規定により転部又は転入学を許可された者の既に修得した単位の取扱い及び在学期間の通算の認定については、教授会が行う。

(転プログラム)

第15条 本学部の学生で他の主専攻プログラムに転プログラムを願い出る者に対する選考については、別に定める。

(雑則)

第16条 この規程に定めるもののほか必要な事項は、教授会が別に定める。

附 則

- 1 この規程は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 数学科、物理学科、化学科、生物学科、地質科学科及び自然環境科学科は、改正後の第2条の規定にかかわらず、当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。
- 3 平成28年度以前に入学した学生の履修方法及び卒業要件については、なお、従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 平成29年度以前に入学した学生の履修方法及び卒業要件については、なお、従前の例による。ただし、施行の日に現に理学科に在籍する学生は、同表に規定する授業科目のうち「情報産業論」及び「情報社会論」を履修し、卒業に必要な単位とすることができる。

附 則

- 1 この規程は、令和3年4月1日から施行する。
- 2 令和2年度以前に入学した学生の履修方法及び卒業要件については、なお、従前の例による。

別表第1 (第5条関係)
専門力プログラム

分類	科目区分	細区分	数学プログラム			物理学プログラム			化学プログラム			生物学プログラム			地質科学プログラム			自然環境科学プログラム			
			必修 科目	選択科目	計	必修 科目	選択科目	計	必修 科目	選択科目	計	必修 科目	選択科目	計	必修 科目	選択科目	計	必修 科目	選択科目	計	
教養教育に関する授業科目	英語	英語		2					2			2							2		
		外国語ベーシック																			
		ドイツ語																			
		フランス語																			
		ロシア語																			
	初修外国語	中国語		2					2			2									
		朝鮮語																	2		
		スペイン語																			
		イタリア語																			
		外国語スペシャル																			
	健康・スポーツ	体育講義																			
		体育実技																			
	情報リテラシー	情報リテラシー	1			8	21	1			8	21	1			8	21	1			8
		情報処理概論																			
		地域入門																			
		新潟大学 個性化科目																			
		自由主題																			
	人文社会・ 教育科学	人文科学		8						8					8					8	
		教育人間科学																			
		法学																			
		経済学																			
	自然科学	理学																			
		工学																			
		農学																			
	医学	医学																			
	歯学	歯学																			
小計				21		21		21		21		21		21		21		21		21	
専門教育に関する授業科目	大学学習法	大学学習法	2		2	2		2	2		2	2		2	2		2	2		2	
	自然系共通 専門基礎	数学・統計学	4																		
		物理学																			
		化学																			
		生物学																			
	理学部共通 ベーシック 科目	地学																			
		アクティブ・ラーニング																			
		基礎実習科目		2		2		2		2		2		2		2		2		2	
	理学部共通コア科目(主専攻コア科目)			2		4		2		4		2		4		2		4		2	
			14				82														
	主専攻専門科目			30																	
			14		8	32		18	26		10		25		9		28		4	34	
	理学部共通コア科目(他主専攻コア科目)			2				2													
他主専攻専門科目																					
小計				84		84		84		84		84		84		84		84		84	
教養教育に関する授業科目及び専門教育に関する授業科目のうちから				19		19		19		19		19		19		19		19		19	
合計				124		124		124		124		124		124		124		124		124	

総合カプログラム

分類	科目区分	数学プログラム		物理プログラム		化学プログラム		生物プログラム		地質科学プログラム	
	細区分	必修科目	選択科目	必修科目	選択科目	必修科目	選択科目	必修科目	選択科目	必修科目	選択科目
教養教育に関する授業科目	英語	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	外国語ベージック										
	ドイツ語										
	フランス語										
	ロシア語										
	中国語	2		2		2		2		2	
	朝鮮語										
	スペイン語										
	イタリア語										
	外国語スペシヤル										
	体育講義										
	健康・スポーツ										
	情報リテラシー	1		1		1		1		1	
	情報処理概論										
	地域入門										
	新潟大学個性化科目										
	自由主題	8			8				8		8
	人文社会・教育科学										
自然科学	教育学										
	法学										
	経済学										
	理学										
	工学										
医学	農学										
	歯学										
小計		21	21	21	21	21	21	21	21	21	21
専門教育に関する授業科目	大学学習法	2		2		2		2		2	
	数学・統計学							2			
	物理学							2			
	化学					4	8	2			6
	生物学							2			
	地学							2			
	アクティブラーニング										
	理学部共通ベージック科目	2		2							
	基礎実習科目	2	4	2	4	2	4	2	4	2	4
	理学部共通コア科目(主専攻コア科目)	14									
	主専攻専門科目	14		8	22	4	6	8	14	9	4
	理学部共通コア科目(他主専攻コア科目)	4						17	4または5 または1	24	15
	他主専攻専門科目		8		4	8			4		8
	小計	84	84	84	84	84	84	84	84	84	84
	教養教育に関する授業科目及び専門教育に関する授業科目のうちから	19		19		19		19		19	
	合計	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124

注) 1.「基礎実習科目」においては、複数分野の科目の単位を取得すること。

ワールド科学人材育成プログラム

分類	科目区分	細区分	必修科目	選択科目	計
教養教育に関する授業科目	英語	英語		2	2
		外国語ベージック			
		ドイツ語			
		フランス語			
		ロシア語			
	初修外国語	中国語			2
		朝鮮語			
		スペイン語			
		イタリア語			
		外国語スペシヤル			
	健康・スポーツ	体育講義			
		体育実技			
	情報リテラシー	情報処理概論	1		1
		情報リテラシー			
	新潟大学個性化科目	地域入門			8
	自由主題	地域研究			
	人文社会・教育科学	自由主題			8
自然科学	教育学	教育学人間科学			
	法学	法学			
	経済学	経済学			
	理学	理学			
	工学	工学			
医学	農学	農学			
	歯学	歯学			
小計				21	21
専門教育に関する授業科目	大学学習法	大学学習法	2		2
	数学・統計学	数学・統計学			
	物理学	物理学			
	化学	化学			12
	生物学	生物学			
	地学	地学			
	アクティブラーニング	アクティブラーニング			2
	理学部共通ベージック科目	基礎実習科目	2		2
				4	4
	理学部共通コア科目	理学部共通コア科目	2		4
	主専攻専門科目	主専攻専門科目	12		32
	理学部共通コア科目(他主専攻コア科目)	他主専攻専門科目			
	小計			84	84
	教養教育に関する授業科目及び専門教育に関する授業科目のうちから			19	19
	合計			124	124

別表第2（第5条関係）

●：主専攻必修科目 ○：主専攻選択科目

(理学部理学科)

無印：他主専攻選択科目 △：自由科目

科目 区分	授業科目の名称	単 位 数	ブ数 学 グ ラ ム		ブ物 理 学 グ ラ ム		ブ化 学 グ ラ ム		ブ生 物 学 グ ラ ム		ブ地 質 学 グ ラ ム		ブ自然 環境 科学 グ ラ ム	ブ科学 人材 育成 グ ラ ム	備考
			専 門 力	総 合 力	専 門 力	総 合 力	専 門 力	総 合 力	専 門 力	総 合 力	専 門 力	総 合 力	専 門 力		
専門 教育に 関する 授業科目	大学学習法	理学スタディ・スキルズ	2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	自然系 共通 専門 基礎 科目	解析学基礎1	1	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	自然環境科学プログラム は、数学基礎A1 1単位 かつ数学基礎A2 1単位 の2単位、または数学 基礎B1 1単位かつ数学 基礎B2 1単位の2単位を 選択 生物学プログラムは、※1 に従う 全プログラムは、※2 に従う。物理学プログ ラム総合力は、※3 に 従う 生物学プログラムと自然環 境科学プログラムは、※4 に従う 自然環境科学プログラムは、 4単位中2単位以上選択 生物学プログラムは、 6単位中2単位以上選択 生物学プログラムと自然環 境科学プログラムは、4単位中 2単位以上選択 生物学プログラムと自然環 境科学プログラムは、6単位中 2単位以上選択
		解析学基礎2	1	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		数学基礎A1	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		数学基礎A2	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		数学基礎B1	1	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		数学基礎B2	1	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		統計学基礎1	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		統計学基礎2	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		物理学基礎AI	2	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	
		物理学基礎AII	2	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	
		物理学基礎BI	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		物理学基礎BII	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		物理学基礎D	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		物理学基礎CI	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		物理学基礎CII	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		化学基礎A	2	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	
		化学基礎B	2	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	
		化学基礎C	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		生物学基礎A	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		生物学基礎B	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		地学基礎A	2	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	
		地学基礎B	2	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	
		地学基礎C	2	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	
理学部 共通ベ ーシ ック 科目	アクティ ブ・ラー ニング	総合力アクティブ・ラーニング	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全プログラムにおいて、4単位 中2単位以上選択
		専門力アクティブ・ラーニング	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	基礎 実習 科目	数学 分野	数学基礎演習a	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	物理学プログラムと自然環境 科学プログラムは、2単位中 1単位以上選択
		数学 分野	数学基礎演習b	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		物理学 分野	物理学基礎実習a	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	化学プログラム総合力と自然 環境科学プログラムは、2単位 中1単位以上選択
		物理学 分野	物理学基礎実習b	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		化学 分野	化学基礎実習a	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	生物学プログラムと自然環境 科学プログラムは、2単位中 1単位以上選択
		化学 分野	化学基礎実習b	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		生物学 分野	生物学基礎実習a	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	自然環境科学プログラムは、 2単位中1単位以上選択
		生物学 分野	生物学基礎実習b	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		地学 分野	地学基礎実習a	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		地学 分野	地学基礎実習b	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		基礎英語コミュニケーション	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		実践英語コミュニケーション	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		海外研修	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		海外英語研修	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		安全教育	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		科学・技術と社会	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		科学史	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		新素材の物性	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		情報産業論	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		情報社会論	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
理学部 共通 コア 科目	理学部 開設 科目	微分積分学IA	1	●	●										
		線形代数IA	1	●	●										
		数学演習A	1	●	●										
		集合と写像	1	○	○										
		微分積分学IB	1	●	●										
		線形代数IB	1	●	●										
		数学演習B	1	●	●										

●：主専攻必修科目 ○：主専攻選択科目

(理学部理学科)

無印：他主専攻選択科目 △：自由科目

科目 区分	授業科目の名称	単 位 数	ブ数 学 グ ラ ム		ブ物 理 学 グ ラ ム		ブ化 学 グ ラ ム		ブ生 物 学 グ ラ ム		ブ地 質 学 グ ラ ム		ブ自然 環境 学 グ ラ ム	ブ科学 人材 育 成 グ ラ ム	備 考
			専 門 力	総 合 力	専 門 力	総 合 力	専 門 力	総 合 力	専 門 力	総 合 力	専 門 力	総 合 力	専 門 力		
理学部 開設科目	オペレーションズ・リサーチ	2	○	○											フィールド科学人材育成プログラムは、※8に従う 化学プログラム専門力は「基礎量子力学」を含む12単位中10単位以上選択、総合力は「基礎量子力学」を含む12単位中8単位以上選択 自然環境科学プログラムは、「分析化学1」「無機化学1」を含む14単位中4単位以上選択し、また、※7に従う フィールド科学人材育成プログラムは、※8に従う
	微分積分学IIA	2	●	●											
	線形代数IIA	2	●	●											
	計算機演習A	1	○	○											
	微分積分学IIB	2	●	●											
	線形代数IIB	2	●	●											
	計算機演習B	1	○	○											
	解析力学	2			○	○									
	基礎物理数学	2			○	○									
	基礎ベクトル解析	2			○	○									
	分析化学I	2					○	○					○	○	
	無機化学I	2					○	○					○	○	
	有機化学I	2					○	○							
	化学熱力学	2					○	○							
	生体分子化学I	2					○	○							
	基礎細胞遺伝学	2							●	●					
	基礎細胞生物学	2							●	●					
	基礎植物学	2							●	●					
	生命科学のための基礎化学	2							○	○					
	基礎生物化学	2							●	●					
	地質学入門a	1									●	●			
	地質学入門b	1									●	●			
	フィールド体験実習	1									○	○			
	構造地質学入門	1									●	●			
	地層・古生物学入門	2									●	●		○	
	鉱物・岩石学入門	2									●	●		○	
	環境地質学入門	1									●	●		○	
	地学英語	1									●	●			
	物質反応化学	2											○	○	
	環境気象学	2											○	○	
	基礎量子力学	2					○	○					○	○	
	機能形態学A	2							○	○			○	○	
	多様性生物学B	2											○	○	
農学部 開設科目	環境砂防学	2												○	
	野生植物生態学	2												○	
	フィールド安全論	2												●	
理学部 開設科目	解析学序論A	1	●	●											
	代数・幾何学序論A	1	●	●											
	集合と位相入門A	1	●	●											
	微分方程式論A	1	○	○											
	代数入門A	2	○	○											
	プログラミング概論A	1	○	○											
	解析学序論B	1	●	●											
	代数・幾何学序論B	1	●	●											
	集合と位相入門B	1	●	●											
	微分方程式論B	1	○	○											
	代数入門B	2	○	○											
	プログラミング概論B	1	○	○											
	実解析学A	2	○	○											
	位相空間論A	1	○	○											
	複素解析学IA	1	○	○											
	代数系IA	1	○	○											
	幾何学IA	2	○	○											
	最適化数学A	1	○	○											
	数理統計学IA	1	○	○											
	数値解析A	1	○	○											
	プログラミング演習A	1	○	○											

●：主専攻必修科目 ○：主専攻選択科目

(理学部理学科)

無印：他主専攻選択科目 △：自由科目

科目 区分	授業科目の名称	単 位 数	ブ 数 学 グ ラ ム		ブ 物 理 学 グ ラ ム		ブ 化 学 グ ラ ム		ブ 生 物 学 グ ラ ム		ブ 地 質 学 グ ラ ム		ブ 自 然 環 境 学 グ ラ ム	ブ 科 学 人 材 育 成 グ ラ ム	備 考
			専 門 力	総 合 力	専 門 力	総 合 力	専 門 力	総 合 力	専 門 力	総 合 力	専 門 力	総 合 力	専 門 力		
	実解析学B	2	○	○											
	位相空間論B	1	○	○											
	複素解析学IB	1	○	○											
	代数系IB	1	○	○											
	幾何学IB	2	○	○											
	最適化数学B	1	○	○											
	数理統計学IB	1	○	○											
	数値解析B	1	○	○											
	プログラミング演習B	1	○	○											
	複素解析学IIA	1	○	○											
	関数解析学A	1	○	○											
	代数系IIA	1	○	○											
	幾何学IIA	1	○	○											
	離散数学A	1	○	○											
	トポロジーA	1	○	○											
	凸解析学A	1	○	○											
	数理統計学IIA	1	○	○											
	確率論A	1	○	○											
	計算数理A	1	○	○											
	複素解析学IIB	1	○	○											
	関数解析学B	1	○	○											
	代数系IIB	1	○	○											
	幾何学IIB	1	○	○											
	離散数学B	1	○	○											
	トポロジーB	1	○	○											
	凸解析学B	1	○	○											
	数理統計学IIB	1	○	○											
	確率論B	1	○	○											
	計算数理B	1	○	○											
	オペレーションズ・リサーチ実習	1	○	○											
	保険数学	2	○	○											
	データ解析法	2	○	○											
	数理解析特別講義	2	○	○											
	代数・幾何特別講義	2	○	○											
	応用数理特別講義	2	○	○											
	数学講究	8	●	●											
理 学 部 開 設 科 目 物 理 学 ブ ロ グ ラ ム 主 専 攻 専 門 科 目	課題研究A	2			●	●									物理学プログラム専門力は20 単位中14単位以上選択、総合 力は20単位中10単位以上選択
	課題研究B	2			●	●									
	課題研究C	2			●	●									
	課題研究D	2			●	●									
	基礎物理学演習A	1			○	○									
	基礎物理学演習B	1			○	○									
	電磁気学IA	1			○	○									
	電磁気学IB	1			○	○									
	電磁気学IIA	1			○	○									
	電磁気学IIB	1			○	○									
	物理学演習A	1			○	○									
	物理学演習B	1			○	○									
	物理学演習C	1			○	○									
	物理学演習D	1			○	○									
	量子力学序論A	1			○	○									
	量子力学序論B	1			○	○									
	振動論と微分方程式	2			○	○									
	複素解析	2			○	○									
	波動とフーリエ解析	2			○	○									
	熱力学A	1			○	○									
	熱力学B	1			○	○									

●：主専攻必修科目 ○：主専攻選択科目

(理学部理学科)

無印：他主専攻選択科目 △：自由科目

科目 区分	授業科目の名称	単 位 数	ブ数 学 グ ラ ム		ブ物 理 グ ラ ム		ブ化 学 グ ラ ム		ブ生 物 グ ラ ム		ブ地 質 グ ラ ム		ブ自 然 環 境 科 学	ブ科 学 人 材 育 成	備考
			専 門 力	総 合 力	専 門 力	総 合 力	専 門 力	総 合 力	専 門 力	総 合 力	専 門 力	総 合 力	専 門 力		
	量子力学IA	2			○	○									物理学プログラム専門力は16 単位中12単位以上選択、総合 力は16単位中8単位以上選択
	量子力学IB	2			○	○									
	量子力学IIA	2			○	○									
	量子力学IIB	2			○	○									
	統計力学IA	2			○	○									
	統計力学IB	2			○	○									
	統計力学IIA	2			○	○									
	統計力学IIB	2			○	○									
	物理学実験A	2			○	○									物理学プログラム専門力は8単 位中6単位以上選択、総合力は 8単位中4単位以上選択
	物理学実験B	2			○	○									
	物理学実験C	2			○	○									
	物理学実験D	2			○	○									
	計算物理学A	2			○	○									
	計算物理学B	2			○	○									
	電気力学A	1			○	○									
	電気力学B	1			○	○									
	特殊相対論A	1			○	○									
	特殊相対論B	1			○	○									
	現代物理学セミナーA	2			○	○									
	現代物理学セミナーB	2			○	○									
	量子力学IIIA	1			○	○									
	量子力学IIIB	1			○	○									
	統計力学IIIA	1			○	○									
	統計力学IIIB	1			○	○									
	原子核物理学	2			○	○									
	物性物理学	2			○	○									
	一般相対論A	1			○	○									
	一般相対論B	1			○	○									
	素粒子物理学	2			○	○									
	宇宙物理学	2			○	○									
	物理学特論I	1			○	○									
	物理学特論II	1			○	○									
	物理学特論III	1			○	○									
	物理学特論IV	1			○	○									
	物理学特論V	1			○	○									
	物理学特論VI	1			○	○									
	全学共通科目 工学部開設科目	電気回路	2		○	○									
	工学部 開設科 目	基礎電子回路	2		○	○									
		電子回路	2		○	○									
		計測工学	2		○	○									
		光応用工学	2		○	○									
		流体工学 I	2		○	○									
化学 プログラム主専攻専門科目	理学部 開設科 目	無機化学Ⅱ	2				○	○							化学プログラム専門力は6単位 中4単位以上選択、総合力は 6単位中2単位以上選択
		有機化学Ⅱ	2				○	○							
		化学統計力学Ⅰ	2				○	○							
		分析化学実験	2			●	○	○							化学プログラム総合力は、 10単位中6単位以上選択
		無機化学実験	2			●	○	○							
		有機化学実験	2			●	○	○							
		物理化学実験	2			●	○	○							
		生化学実験	2			●	○	○							
		分析化学演習	4			○	○	○							化学プログラムは、28単位中 4単位選択（複数不可）
		無機化学演習	4			○	○	○							
		有機化学演習	4			○	○	○							
		物理化学演習	4			○	○	○							
		量子化学演習	4			○	○	○							
		生化学演習	4			○	○	○							
		溶液化学演習	4			○	○	○							

●：主専攻必修科目 ○：主専攻選択科目

(理学部理学科)

無印：他主専攻選択科目 △：自由科目

科目 区分	授業科目の名称	単 位 数	ブ数 学 グ ラ ム		ブ物 理 グ ラ ム		ブ化 学 グ ラ ム		ブ生 物 グ ラ ム		ブ地 質 グ ラ ム		ブ自 然 環 境 科 学 グ ラ ム	ブ科 学 人 材 育 成 グ ラ ム	備考
			専 門 力	総 合 力	専 門 力	総 合 力	専 門 力	総 合 力	専 門 力	総 合 力	専 門 力	総 合 力	専 門 力		
理学部 開設科目	課題研究 a	4					●	●							化学プログラム専門力は「物質科学A」を含む31単位中18単位以上選択、総合力は「物質科学A」を含む31単位中10単位以上選択
	課題研究 b	4					●	●							
	分析化学Ⅱ	2					○	○							
	無機化学Ⅲ	2					○	○							
	有機化学Ⅲ	2					○	○							
	有機化学Ⅳ	2					○	○							
	量子化学	2					○	○					○		
	化学反応論	2					○	○					○		
	化学統計力学Ⅱ	2					○	○							
	生体分子化学Ⅱ	2					○	○							
	生体分子化学Ⅲ	2					○	○							
	基礎機器分析	2					○	○							
	有機機器分析	2					○	○							
	化学英語	2					○	○							
	化学コロキウム	1					○	○							
	化学特論Ⅰ	1					○	○							
	化学特論Ⅱ	1					○	○							
	化学特論Ⅲ	1					○	○							
	化学特論Ⅳ	1					○	○							
生物学 プログラム主専攻専門科目	植物生理学Ⅰ	2							○	○					生物学プログラムは、※5に従う
	動物生理学Ⅰ	2							○	○					
	系統動物学	2							○	○					
	生体情報学	2							○	○					
	発生生物学Ⅰ	2							○	○					
	発生生物学Ⅱ	2							○	○					
	植物生理学Ⅱ	2							○	○					
	生物英語Ⅰ	2						●	●						
	分子生物学	2							○	○					
	細胞生物学Ⅰ	2							○	○					
	生物化学Ⅰ（理）	2							○	○					
	細胞生物学Ⅱ	2							○	○					
	生物化学Ⅱ（理）	2							○	○					
	動物生理学Ⅱ	2							○	○					
	植物生理学Ⅲ	2							○	○					
	動物生理学Ⅲ	2							○	○					
	生物学実習Ⅰ	2						●	●						
	生物学実習Ⅱ	3						●	●						
	生物学実習Ⅲ	3						●	●						
	生物学実習Ⅳ	3						●	●						
	臨海実習Ⅰ	2							○	○					
	臨海実習Ⅲ	1							○	○					
	臨海実習Ⅳ	1							○	○					
	生物学総合演習	4						●	●						
	生物学特論Ⅰ	1							○	○					
	生物学特論Ⅱ	1							○	○					
	生物学特論Ⅲ	1							○	○					
	生物学特論Ⅳ	1							○	○					
	生物学特論Ⅴ	1							○	○					
	生物学特論Ⅵ	1							○	○					
	生物化学演習	4							○	○					
	細胞生物学演習	4							○	○					
	発生生物学演習	4							○	○					
	植物生理学演習	4							○	○					
	内分泌学演習	4							○	○					
	分子生物学演習	4							○	○					
	課題研究Ⅰ（生物学）	8						●							生物学プログラム総合力は、※6に従う
	課題研究Ⅱ（生物学）	4													

●：主専攻必修科目 ○：主専攻選択科目

(理学部理学科)

無印：他主専攻選択科目 △：自由科目

科目 区分			授業科目の名称		数 学 プ ロ グ ラ ム		物 理 学 プ ロ グ ラ ム		化 学 プ ロ グ ラ ム		生 物 学 プ ロ グ ラ ム		地 質 学 プ ロ グ ラ ム		自 然 環 境 学 プ ロ グ ラ ム	フ ィ ー ル ド ブ ロ グ ラ ム 人 材 育 成	備考
				単 位 数	専 門 力	総 合 力	専 門 力	総 合 力	専 門 力	総 合 力	専 門 力	総 合 力	専 門 力				
地質科学 プログラム 主専攻 専門科目	理学部 開設科目	地質調査法I	2										●	●			
		地質調査法II	1											●	●		
		地質調査法実習I	2											●	●		
		地質調査法実習II	1											●	●		
		地質調査法実習III	1											●	●		
		岩石学A	1											●	●		
		岩石学実験I	1											●	●		
		テクニクス	2											●	●		
		鉱物学A	1											●	●		
		地層学A	1											●	●		
		古生物学A	1											●	●		
		野外実習A	4											●	○		
		課題研究(地質科学)	8											●	●		
		セミナー	2											●	●		
		野外実習B	2											○	○		
		論文購読演習	1											○	○		
		鉱物学B	1											○	○		
		鉱物学C	1											○	○		
		鉱物結晶学実験	1											○	○		
		岩石学B	1											○	○		
		岩石学C	1											○	○		
		岩石学実験II	1											○	○		
		固体地球化学A	1											○	○		
		固体地球化学B	1											○	○		
		地球化学分析法	1											○	○		
		構造地質学	2											○	○		
		地質構造解析法	1											○	○		
		地球物理学	2											○	○		
		地層学B	1											○	○		
		古生物学B	1											○	○		
		古生物学実験	1											○	○		
		海洋生物学実験	1											○	○		
		地史学A	1											○	○		
		地史学B	1											○	○		
		海洋地質学A	1											○	○		
		海洋地質学B	1											○	○		
		東アジアの地質形成史	2											○	○		
		第四紀環境学	2											○	○		
		環境地質学	2											○	○		
		水文地質学	2											○	○		
		環境地質学実習	1											○	○		
		石油地質学	1											○	○		
		土木地質学	1											○	○		
		応用地質学実習	1											○	○		
		水質化学分析法	1											○	○		
		地球科学特別講義I	1											○	○		
		地球科学特別講義II	1											○	○		
		地球科学特別講義III	1											○	○		
		自然環境科学 プログラム	理学部 開設科目	自然環境科学総論	2										●		
地形学	2												○				
地球流体力学	2												○				
物質科学B	2												○				
機能形態学B	2												○				
生態学	2												○				
多様性生物学a	1												○				
多様性生物学c	1												○				
寒冷地形学	2												○				

●：主専攻必修科目 ○：主専攻選択科目

(理学部理学科)

無印：他主専攻選択科目 △：自由科目

科目 区分	授業科目の名称	単 位 数	ブ数 学 グ ラ ム		ブ物 理 グ ラ ム		ブ化 学 グ ラ ム		ブ生 物 学 グ ラ ム		ブ地 質 学 グ ラ ム		ブ自 然 環 境 学 グ ラ ム	ブフ ィ ー ルド 科 学 人 材 育 成 グ ラ ム	備 考
			専 門 力	総 合 力	専 門 力	総 合 力	専 門 力	総 合 力	専 門 力	総 合 力	専 門 力	総 合 力	専 門 力		
主 専 攻 専 門 科 目	気候システム論	2											○		自然環境科学プログラムは、 4単位中2単位以上選択 自然環境科学プログラムは、 12単位中8単位以上選択 自然環境科学プログラムは、 24単位中8単位選択（複数不可）
	物質科学A	2					○	○					○		
	地球環境化学	2											○		
	エネルギー物質科学	2											○		
	環境汚染論	2											○		
	保全遺伝学	2											○		
	進化生物学	2							○	○			○		
	適応生物学	2							○	○			○		
	古環境学	2											○		
	環境経済システム論I	2											○		
	環境政策論	2											○		
	自然環境科学実験A1	2											○		
	自然環境科学実験A2	2											○		
	自然環境科学実験B1	2											○		
	自然環境科学実験B2	2											○		
	自然環境科学実験C1	2											○		
	自然環境科学実験C2	2											○		
	自然環境科学特論A	1											○		
	自然環境科学特論B	1											○		
	自然環境科学特論C	1											○		
	自然環境科学特論D	1											○		
	数理演習	2											○		
	環境生物学演習	2											○		
	自然環境科学研究演習	1											○		
	環境生物学野外実習A	1							○	○			○		
	環境生物学野外実習B	1											○		
	環境生物学野外実習C	1											○		
	課題研究(自然環境)A	8											○		
	課題研究(自然環境)B	8											○		
	課題研究(自然環境)C	8											○		
フ ィ ー ルド 科 学 人 材 育 成 プ ロ グ ラ ム 主 専 攻 専 門 科 目	理学部開設科目													●	フィールド科学人材育成プログラムは、※8に従う フィールド科学人材育成プログラムは、※9に従う フィールド科学人材育成プログラムは、※10に従う
	卒業論文	8												○	
	生態学	2											○		
	地形学	2											○		
	系統動物学	2											○		
	環境経済システム論I	2											○		
	環境政策論	2											○		
	環境物理学	2											○		
	海洋化学	2											○		
	水圏生態学	2											○		
	寒冷地形学	2											○		
	地球環境化学	2											○		
	古環境学	2											○		
	保全遺伝学	2											○		
	多様性生物学a	1											○		
	多様性生物学c	1											○		
	環境地質学	2											○		
	水文地質学	2											○		
	臨海実習 I	2											○		
	地形解析実習	2											○		
	気象解析実習	2											○		
	地形フィールド実習	1											○		
	地質フィールド実習	1											○		
	農学部開設科目													●	
	フィールドワーカーのためのリスクマネジメント実習	2											○		
	科学英語演習	2											○		
	野生動物生態学	2											○		
	流域環境GIS	2											○		

●：主専攻必修科目 ○：主専攻選択科目

(理学部理学科)

無印：他主専攻選択科目 △：自由科目

科目 区分	授業科目の名称	単 位 数	ブ数 学 グ ラ ム		ブ物 理 グ ラ ム		ブ化 学 グ ラ ム		ブ生 物 グ ラ ム		ブ地 質 グ ラ ム		ブ自然 環境 科学 グ ラ ム	ブ科学 人 材 育 成 グ ラ ム	備考
			専 門 力	総 合 力	専 門 力	総 合 力	専 門 力	総 合 力	専 門 力	総 合 力	専 門 力	総 合 力	専 門 力		
	技術者倫理・自然環境関連法規	2												○	フィールド科学人材育成プログラムは、※9に従う
	森林環境論	2												○	
	森林再生学	2												○	
	森林保全学	2												○	
	リモートセンシング	2												○	
	測量学（農）	2												○	
	流域水文学	2												○	
	水環境工学	2												○	
	土環境工学	2												○	
	構造デザイン工学	2												○	
	環境統計学	2												○	
	森林遺伝育種学	2												○	
	温暖化メカニズム・影響学	2												○	
	斜面災害論	2												○	
	雪氷防災学	2												○	
	里地里山再生学	2												○	
	希少生物保全学	2												○	
	野生植物生態学実習	2												○	
	野生動物生態学実習	2												○	
	測量学実習（農）	2												○	
	GIS・リモートセンシング演習	2												○	
	防災系演習及び実習	3												○	
	生態系管理演習及び実習	4												○	
	フィールド科学インターンシップ	2												○	
	自然再生学実習	2												○	
	災害・復興科学演習及び実習	2												○	
	グローバル防災・復興学	2												○	
工学部 開設科目	河川工学	2												○	フィールド科学人材育成プログラムは、※9に従う
他 主 専 攻 専 門 科 目 （ 共 通 ）	工学部 開設科目	無機化学	2												
		基礎無機化学	2												
		無機工業化学	2												
		無機合成化学	2												
		分析化学（工）	2												
		材料分析化学	2												
		高分子化学概論	2												
		高分子科学	2												
		物質構造論	2												
教育学部 開設科目	無機化学	2													
その他	臨海実習II	1	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	※11

自然系共通専門基礎科目

- ※1 生物学プログラムは、解析学基礎1 1単位かつ解析学基礎2 1単位の2単位、数学基礎A1 1単位かつ数学基礎A2 1単位の2単位、数学基礎B1 1単位かつ数学基礎B2 1単位の2単位、統計学基礎1 1単位かつ統計学基礎2 1単位の2単位から2単位以上選択。
- ※2 全プログラムは、物理学基礎AI 2単位と物理学基礎BI 2単位の両方の単位を取得しても2単位とする。
また、物理学基礎AII 2単位と物理学基礎BII 2単位の両方の単位を取得しても2単位とする。
- ※3 物理学プログラム総合力は、物理学基礎AI 2単位と物理学基礎BI 2単位から2単位以上選択。
また、物理学基礎AII 2単位と物理学基礎BII 2単位から2単位以上選択。
- ※4 生物学プログラムと自然環境科学プログラムは、物理学基礎AI 2単位、物理学基礎AII 2単位、物理学基礎BI 2単位、物理学基礎BII 2単位、物理学基礎D 2単位から2単位以上選択。

主専攻専門科目

- ※5 他大学の公開（臨海）実習の取得単位は2単位を上限として算入できる。取得した単位は、臨海実習III、IV（それぞれ1単位）として単位認定する。
- ※6 生物学プログラム総合力は、課題研究I 8単位と課題研究II 4単位から8単位または4単位選択。

-
- ※7 自然環境科学プログラムは、物質反応化学 2単位、物質科学B 2単位、無機化学I 2単位、分析化学I 2単位から4単位以上、環境気象学 2単位、基礎量子力学 2単位、地球流体力学 2単位、地形学 2単位から4単位以上、機能形態学A 2単位、機能形態学B 2単位、多様性生物学a 1単位、多様性生物学B 2単位、多様性生物学c 1単位、生態学 2単位から4単位以上選択。
- ※8 フィールド科学人材育成プログラムは、分析化学I 2単位、環境砂防学 2単位、生態学 2単位、地形学 2単位、系統動物学 2単位、野生植物生態学 2単位、野生動物生態学 2単位、流域環境GIS 2単位から10単位以上選択。
- ※9 フィールド科学人材育成プログラムは、環境経済システム論I 2単位、環境政策論 2単位、環境物理学 2単位、海洋化学 2単位、水圏生態学 2単位、寒冷地形学 2単位、地球環境化学 2単位、古環境学 2単位、保全遺伝学 2単位、多様性生物学a 1単位、多様性生物学c 1単位、環境地質学 2単位、水文地質学 2単位、技術者倫理・自然環境関連法規 2単位、森林環境論 2単位、森林再生学 2単位、森林保全学 2単位、リモートセンシング 2単位、測量学(農) 2単位、流域水文学 2単位、水環境工学 2単位、土環境工学 2単位、構造デザイン工学 2単位、環境統計学 2単位、森林遺伝育種学 2単位、温暖化メカニズム・影響学 2単位、斜面災害論 2単位、雪氷防災学 2単位、里地里山再生学 2単位、希少生物保全学 2単位、河川工学 2単位から24単位以上選択。
- ※10 フィールド科学人材育成プログラムは、臨海実習I 2単位、地形解析実習 2単位、気象解析実習 2単位、地形フィールド実習 1単位、地質フィールド実習 1単位、野生植物生態学実習 2単位、野生動物生態学実習 2単位、測量学実習(農) 2単位、GIS・リモートセンシング演習 2単位、防災系演習及び実習 3単位、生態系管理演習及び実習 4単位、フィールド科学インターンシップ 2単位、自然再生学実習 2単位、災害・復興科学演習及び実習 2単位から8単位以上選択。

その他

- ※11 臨海実習IIの単位は卒業要件に含まれない。

3. 新潟大学における授業科目の区分等に関する規則

(趣旨)

第1条 この規則は、新潟大学学則（平成16年学則第1号。以下「学則」という。）第48条の規定に基づき、新潟大学（以下「本学」という。）の学士課程教育における授業科目の区分、履修方法等に関し必要な事項を定めるものとする。

(授業科目の区分)

第2条 本学の授業科目は、別表のとおり区分する。

2 各年度において開設する授業科目は、教育・学生支援機構（以下「機構」という。）が公示する授業科目開設一覧の定めるところによる。

3 授業科目には、学生の体系的な履修に資するため、学問分野及び水準を示すコードを付すものとする。

4 前項のコードは、機構において定めるものとする。

(授業期間)

第3条 学則第37条第2項に規定する各学期を前半及び後半に分けた授業期間をタームという。

2 前項に規定するタームは、第1学期の前半を第1ターム、後半を第2ターム、第2学期の前半を第3ターム、後半を第4タームとする。

(授業科目の開講方式等)

第4条 授業科目は、原則としてタームにより開講する。

(授業科目の履修)

第5条 学生は、所属する学部が定める教育課程に基づき、機構が公示する授業科目を履修するものとする。

(授業科目の聴講の受付及び承認)

第6条 授業科目の聴講の受付及び承認は、その授業科目の担当教員が行う。

2 前項の聴講の受付及び承認は、各学期の授業開始後3週間以内に行うものとする。

(授業科目の修了の認定)

第7条 授業科目の修了の認定は、その授業科目の担当教員が行う。

2 授業科目の試験等において、不正行為を行った学生に対しては、新潟大学学生の懲戒に関する規程（平成27年規程第7号）に基づき、学長が必要な措置を講じるものとする。

(授業科目の評価)

第8条 授業科目の評価は、100点満点をもって評価し、60点以上の成績を得た学生を合格、59点以下の成績を得た学生を不合格とする。

2 前項の成績の評語及び基準は、次のとおりとする。

点数	評語	基準
100点～90点	秀	授業科目の目標を超えている。
89点～80点	優	授業科目の目標に十分達している。
79点～70点	良	授業科目の目標に照らして一定の水準に達している。
69点～60点	可	授業科目の目標の最低限を満たしている。
59点～0点	不可	授業科目の目標の最低限を満たしていない。

3 前項の規定にかかわらず、授業科目の成績において点数をもって評価できない場合は、「認定」又は「合格」の評語をもって評価することができる。

(授業科目の追試験)

第9条 病気その他やむを得ない理由により試験を受けることができない学生については、別に定めるところにより、追試験を行うことができる。

(授業科目の再試験)

第10条 授業科目の評価が不合格となった学生で、卒業又は進級できないものがある場合は、別に定めるところにより、再試験を行うことができる。

(成績評価の不服申立て)

第11条 学生は、成績評価が第8条第2項に規定する成績の評価基準に照らして不相当と考えるときは、不服を申立てることができる。

(雑則)

第12条 この規則に定めるもののほか、授業科目の区分、履修方法等に関し必要な事項は、機構又は各学部が定める。

附 則

- 1 この規則は、平成17年4月1日から施行する。
- 2 新潟大学全学共通科目の履修の基準に関する規則（平成16年規則第32号）は、廃止する。
- 3 平成16年度以前に入学し、現に在学している学生がこの規則により授業科目を履修した場合の全学共通科目又は教養科目（廃止前の新潟大学全学共通科目の履修の基準に関する規則に基づく全学共通科目又は教養科目をいう。）への読替えについては、機構において公示する。

附 則（平成22年3月31日規則第1号）この規則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則（平成27年3月31日規則第3号）この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則（平成29年3月9日規則第6号）この規則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（令和元年12月16日規則第24号）この規則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則（令和2年3月31日規則第3号）この規則は、令和2年4月1日から施行する。

別表(第2条関係)

授 業 科 目 区 分 表

科目区分	細区分
英語	英語 実践英語
初修外国語	外国語ベーシック ドイツ語 フランス語 ロシア語 中国語 朝鮮語 スペイン語 イタリア語 外国語スペシャル その他
健康・スポーツ	体育実技 体育講義
情報リテラシー	情報リテラシー 情報処理概論
新潟大学個性化科目	地域入門 地域研究 自由主題
留学生基本科目	日本語 日本事情
大学学習法	大学学習法
自然系共通専門基礎	数学・統計学 物理学 化学 生物学 地学
自然科学	理学 工学 農学
人文社会・教育科学	人文科学 教育人間科学 法学 経済学
医歯学	医学 歯学

4. 履修の心得

理学部理学科では、学生が確かな学習成果を得られるように 7 つの主専攻プログラムを設け、「学位」の質を保証します。また、主専攻専門科目を体系的に学修することによって課題解決能力を育成する履修体系の専門力プログラムと、主専攻専門科目と関連する他主専攻専門科目を組み合わせることで学修することによって課題解決能力を育成する履修体系の総合力プログラムによって教育を行います。各主専攻プログラムと履修体系の名称は次のとおりです。

主専攻プログラムの名称	履修体系の名称	
	専門力プログラム	総合力プログラム
数学プログラム	数学プログラム専門力	数学プログラム総合力
物理学プログラム	物理学プログラム専門力	物理学プログラム総合力
化学プログラム	化学プログラム専門力	化学プログラム総合力
生物学プログラム	生物学プログラム専門力	生物学プログラム総合力
地質科学プログラム	地質科学プログラム専門力	地質科学プログラム総合力
自然環境科学プログラム	自然環境科学プログラム専門力	—
フィールド科学人材育成プログラム	フィールド科学人材育成プログラムでは、専門力プログラムや総合力プログラムと異なる、主専攻専門科目を体系的に学修することによってフィールドに関連する諸問題に対する実践的課題解決能力を育成する履修体系により教育を行います。	

理学部規程は、入学年度の規程が卒業するまで適用されますので、自分の適用規程を確認するときは入学年度の「履修の手引」を参照してください。

I 教養教育に関する授業科目

本学部の教育課程は、「教養教育に関する授業科目」及び「専門教育に関する授業科目」により編成されています。「教養教育に関する授業科目」はその内容等に応じ、英語、初修外国語、健康・スポーツ、情報リテラシー、新潟大学個性化科目、人文社会・教育科学、自然科学及び医歯学に区分されており、幅広い教養を身に付けるための授業科目です。

なお、他学部の科目を修得した場合は、理学部では「教養教育に関する授業科目」とみなされます。ただし、理学部規程別表第2に定める科目は、他学部開設科目であっても「専門教育に関する授業科目」となります。

履修にあたっては、ガイダンスに従ってください。

II 専門教育に関する授業科目

「専門教育に関する授業科目」には、大学学習法、自然系共通専門基礎科目、自然科学（理学）に区分された科目があります。それぞれの区分について、必修科目及び選択科目があり、各主専攻プログラムが指定した単位を修得しなければなりません。

「専門教育に関する授業科目」の授業科目及び単位数は、理学部規程別表第2及び授業科目開設一覧の各年度入学者向け開講科目表を参照してください。

○ 大学学習法

大学教育への導入科目です。

○ 自然系共通専門基礎科目

自然科学系学部の学生が専門を学ぶ上で基礎となる授業科目です。

○ 共通ベーシック科目

本学部生としての学習姿勢を身に付け、かつ科学の持つ多面性を学ぶための科目です。

○ 共通コア科目

各主専攻プログラムの導入科目です。

III 理学部規程別表第1（第4条関係）及び別表第2の履修方法

「教養教育に関する授業科目」または「専門教育に関する授業科目」から124単位以上を修得してください。

【教養教育に関する授業科目】 21単位以上を修得してください。

「英語」、「初修外国語」、「健康とスポーツ」、「情報リテラシー」、「新潟大学個性化科目」、「人文社会・教育科学」、「自然科学」及び「医歯学」区分の科目は「新潟大学授業科目開設一覧」の科目の中から、別表第1の区分毎に規定の単位数を修得してください。ただし、「教養教育に関する授業科目」の科目区分「自然科学」に理学部規程別表第2に定める科目は含まれません。なお、外国語ベーシックⅠは異なる言語の組み合わせで履修してください。

また、健康スポーツ科学実習Ⅰ（Ia, Ib）を履修する場合は、担当教員が異なる「健康スポーツ科学実習Ⅰa」（0.5単位）と「健康スポーツ科学実習Ⅰb」（0.5単位）を組み合わせで履修してください。代わりに「健康スポーツ科学実習Ⅰ」（1単位）を履修してもかまいません。「健康スポーツ科学実習Ⅰa」、「健康スポーツ科学実習Ⅰb」、「健康スポーツ科学実習Ⅰ」から複数科目を履修した場合、1単位までしか卒業要件として認められません。また、「健康スポーツ科学講義a」（1単位）、「健康スポーツ科学講義b」（1単位）、「健康スポーツ科学講義」（2単位）から複数科目を履修した場合、2単位までしか卒業要件として認められません。（「健康スポーツ科学講義a」、「健康スポーツ科学講義b」は両科目を組み合わせで履修してください。）

「情報リテラシー」区分の必修科目は、「データサイエンス総論Ⅰ」（1単位）です。

【専門教育に関する授業科目】 84単位以上を修得してください。

理学部規程別表第2から以下に留意して修得してください。

1. **大学学習法**（理学スタディ・スキルズ） 2単位必修

2. **自然系共通専門基礎** 12単位以上を修得してください。

- ・原則として1分野6単位以下とし、複数分野の単位を修得してください。
- ・別表第1及び別表第2で各主専攻プログラムが細区分毎に規定する単位数を修得してください。
- ・主聴講学部が指定されている科目がありますので、履修に際しては注意してください。

3. **共通ベーシック科目、共通コア科目**

- ・別表第1で各主専攻プログラムが規定する科目・単位数を別表第2で参照の上、修得してください。
- ・アクティブ・ラーニング科目は2単位を修得してください。
ただし、開講番号が異なる複数の専門力アクティブ・ラーニング科目を履修しても、修得できる単位数は2単位です。同様に、複数の総合力アクティブ・ラーニング科目を履修しても、修得できる単位数は2単位です。
- ・基礎実習・演習科目は2単位以上を修得してください。
- ・共通ベーシック科目は8単位以上を修得してください。
- ・共通コア科目は6単位以上を修得してください。

【注意】

以下の科目の単位を、卒業要件単位（124単位）に含めることはできません。

1. 「教科に関する専門的事項」以外の「教科及び教職に関する科目」（教育職員免許状所得のための科目）。ただし、数学プログラムでは「数学科教育法Ⅰ」、「数学科教育法Ⅱ」、「数学科教育法Ⅲ」及び「数学科教育法Ⅳ」の単位を、卒業要件単位（専門教育に関する授業科目）に含めることができます。
2. 学芸員資格取得のための科目（ただしGコード科目は除きます）
3. 社会教育主事資格取得のための科目
4. 副専攻に係るQコード科目
5. 経済学部夜間主コース学生向け科目
6. 臨海実習Ⅱ
7. 別表第2に記載されていないSコード科目

IV アドバイザー制度

理学部では、次のアドバイザー制度を導入し、きめ細かい履修指導を行っています。

○ クラス相談員

入学してから主専攻プログラムに配属されるまでの間、授業の履修方法などの指導を行います。

○ プログラム相談員

入学してから主専攻プログラムに配属されるまでの間、プログラム毎の授業科目履修に関する留意事項などについて指導を行います。

○ プログラム支援員（フロンティア・推薦）

フロンティア・スタディ・プロジェクト採択者（総合型選抜による入学者を含む）及び学校推薦型選抜による入学者に対して専門教育を受けるための支援を行います。

○ 主専攻相談員

主専攻プログラムに配属された後、授業の履修方法などの指導を行います。

V 履修申請

原則として「学務情報システム」（Web ブラウザ）から行います。

ただし、集中講義等で「聴講票」により履修申請を行う科目がありますので、その都度通知します。

VI 履修確認

原則として「学務情報システム」（Web ブラウザ）から行います。学期毎に履修確認期間があります。後日思わぬ不利益を被ることのないように、必ず確認してください。

確認期間については、学務情報システム若しくは掲示板で確認してください。

VII 履修科目数の上限設定（キャップ制）

履修するそれぞれの科目について十分な予習と復習の時間が必要なため、第1学期（第1ターム、第2ターム）、第2学期（第3ターム、第4ターム）ごとに履修できる授業・演習・実習科目の単位数には上限が設定されています。理学部では、各学期の確定履修科目の単位数は原則として28単位を超えることはできません。キャップ制を適用する科目は、集中講義科目以外の卒業要件に含まれる科目です。3年次編入生は、2年間で卒業要件単位を修得できるように、キャップ制を適用しません。成績優秀な学生及び特別な理由がある学生は、申請により、28単位を越えて履修することが認められることがあります。キャップ制の上限を超えて履修登録が行われ、キャップ制の上限を超えた登録が、特段の理由なく取り消されないまま聴講取消期間を過ぎた場合、理学部学務委員長が取り消しを行います。

VIII プログラム選択

2年次第1学期終了時に在学期間が18ヶ月以上となり、主専攻プログラム選択要件を満たした学生は、2年次第2学期始めから7主専攻プログラムのうちいずれか一つの主専攻プログラムに配属されます。2年次1学期終了時に在学期間が18ヶ月未満もしくは主専攻プログラム選択要件を満たせずに主専攻プログラムに配属されなかった学生が、2年次2学期終了時に在学期間が18ヶ月以上となり、主専攻プログラム選択要件を満たした場合、その学生は配属学生数が受入れ上限に達していない主専攻プログラムのうちいずれか一つの主専攻プログラムに配属されます。

IX 進級

通算して1年以上在学すれば2年次に進級できます。3年次に進級するためには、2年次を通算して1年以上在学し、プログラム選択要件を満たし、所属する主専攻プログラムが定めた進級要件を満たさなければなりません。4年次に進級するためには、3年次を通算して1年以上在学し、所属する主専攻プログラムが定めた進級要件を満たさなければなりません。

X 試験時における注意事項

受験に当たっては、不正行為のないよう厳正な態度で臨んでください。

試験における不正行為により懲戒処分を受けた学生に対しては、不正行為を行った科目は不合格(0点)とし、それ以外の当該学期の履修登録科目は、すべて履修取消とします。

XI 追試験について

理学部規程第9条に定める追試験を願い出る場合は、受験できなかった授業科目の試験実施の日から4日以内(インフルエンザの場合は7日以内)に、次に掲げる「事実を証明できる書類」と「追試験願」を、理学部学務係に提出してください。申請用の「追試験願」は学務係にあります。追試験を受けるには、学務係にて追試験資格の有無の確認を受け、追試験科目担当教員の承認を得なければなりません。上記日数内に申し出ることができなかった場合は、理学部学務係に相談することができます。

- (1) 病気の場合 医師の診断書
- (2) 事故の場合 事実を証明できる書類
- (3) その他の事実を証明できる書類(理学部学務係及び追試験科目担当教員が妥当と認めた事由に限る)

XII 成績とGPA

履修登録した授業科目の成績は、その科目毎に下記の評価基準に基づいた点数で評価します。

また、併せて履修登録した全授業科目について、1単位当たりの成績の平均値(GPA)を算出します。

GPAは学期毎に算出し、入学後に履修登録した全ての授業科目について、累積GPAを算出します。

累積GPAと全履修単位数は、学生の勉学に関する“質の高さ”と“意欲の旺盛さ”を端的に表しているとみることができます。

GPAは大学が責任をもって学生に教育を行い、社会に送り出すために、最低限の質の保証されたもので、授業の履修については「厳格な成績評価及び修了認定」をするために、学生の皆さんには自己責任や自己管理についての注意が求められます。

主専攻プログラム配属を決定する際、一つの主専攻プログラムに対して配属希望学生が受入れ人数上限を超えた場合、累積GPAが上位の学生からその主専攻プログラムに配属されます。

数学プログラムでは、4年次の数学講究の担当教員決定に累積GPAを用いる場合があります。

物理学プログラムでは、本学大学院自然科学研究科博士前期(修士)課程一般入試の書類を発行するため、累積GPAを用いて学年ごとに席次を決定しています。また、成績優秀者を推薦する際にも累積GPAを用いています。

化学プログラム・生物学プログラムでは、4年次の研究室配属に累積GPAを用いる場合があります。また、本学大学院自然科学研究科博士前期(修士)課程一般入試の書類を発行するため、累積GPAを用いて学年ごとに席次を決定しています。

自然環境科学プログラムでは、4年次の研究室配属に累積GPAを用いる場合があります。また、FSP採択者の優先的研究室配属の判断にも累積GPAを用いています。

フィールド科学人材育成プログラムでは、4年次の研究室配属に累積GPAを用いる場合があります。また、FSP追加応募の採否に累積GPAを用いています。さらに、FSP採択者の優先的研究室配属の判断にも累積GPAを用いています。

【注意】

取消手続きを行わずに放棄した授業科目、試験等を受けずに成績評価を受けられなかった授業科目があると、その成績表示は「――」となり、累積GPAが下がることになります。

○成績評価基準

点数	評語	基準
100点～90点	秀	授業科目の目標を超えている。
89点～80点	優	授業科目の目標に十分達している。
79点～70点	良	授業科目の目標に照らして一定の水準に達している。
69点～60点	可	授業科目の目標の最低限を満たしている。
59点～0点	不可	授業科目の目標の最低限を満たしていない。

○GPA 計算

100 点満点で評価された各授業科目のグレード・ポイント（GP）は、次の計算式で算出されます。

$$GP = \frac{\text{評価} - 50}{10}$$

<例> 85 点の場合、 $GP = (85 - 50) / 10 = 3.5$ となります。

ただし、59 点以下の場合は 0 となります。

GPA は、次の計算式で算出されます。

$$GPA = \frac{\{\text{履修登録した各授業科目の単位数} \times GP\} \text{の総和}}{\text{履修登録した各授業科目の単位数の総和}}$$

累積 GPA は、次の計算式で算出されます。

$$\text{累積 GPA} = \frac{\{\text{入学時以降に評価を得た各授業科目の単位数} \times GP\} \text{の総和}}{\text{入学時以降に履修登録した各授業科目の単位数の総和}}$$

XIII 成績評価に対する疑義照会及び不服申立てについて

理学部開設授業科目の成績評価に対して疑義がある場合は、成績確認期間内に、授業担当教員（または理学部学務係）に申し出てください。

なお、疑義照会の回答に対し不服がある場合は、理学部学務係に申し出てください。理学部学務委員会において、不服申立て内容を審査し、結果を通知します。

XIV 再履修について

単位修得済みの科目について、同一科目を再度履修することができます。

ただし、卒業要件単位には 1 科目分の単位しか認められません。

※再履修できない科目（実験・実習科目他）もありますので、履修申請の際には注意してください。

XV 席次

2 年次第 1 学期までは理学科全体で、主専攻プログラム配属後は所属する主専攻プログラムで、学年毎に、席次は修得単位数及び累積 GPA 等により総合的に決定します。

XVI 保護者への成績通知

本学部では、学生の学修成績を保護者に通知しています。

送付に際し、特殊事情や送付先の変更を希望する等の場合は、クラス相談員または主専攻相談員に申し出てください。

XVII 身上異動

改氏名、保護者の変更、保護者の住所変更等の身上異動があった場合は、速やかに理学部長に届け出なければなりません。届出用紙は、理学部学務係にあります。

XVIII 学生連絡先

緊急に連絡を要する場合、大学から連絡先（住所）へ電話等を行うことがあります。

入学時に連絡先届を提出するとともに「学務情報システム」にも現住所及び電話番号を必ず登録してください。

連絡先に変更があった場合は、理学部学務係に届けるとともに登録内容の更新を行ってください。

※届出がない場合には、不利益を被ることがあります。

XIX その他

1 転プログラム

転プログラムを希望する場合は、まず、主専攻相談員または所属プログラム学務委員に申し出てください。申請用紙は、理学部学務係にあります。転プログラム志願書類の受付期間は12月1日から12月10日（平日のみ）です。ただし、申請は2年次から3年次に進級するときに限り、当該時点での累積GPAが2.5以上である者のみを有資格者とします。また、申請を行う前に希望する主専攻プログラムの主専攻相談員又は学務委員に申し出てください。

なお、主専攻プログラム内での専門力プログラムから総合力プログラム、または総合力プログラムから専門力プログラムへの変更を希望する場合は、以下によります。

（1）申出期間

申出期間は年2回とする。

2月1日から第2学期の成績登録期限の翌日まで

8月1日から第1学期の成績登録期限の翌日まで

（2）申出の方法

主専攻相談員または所属プログラム学務委員の許可を得た後、学務係備え付けの申請用紙で申し出る。

2 転部

理学部以外の学部へ転部を希望する場合は、予めクラス相談員、主専攻相談員または所属プログラム学務委員に申し出てください。

転部受付の有無・方法・時期等については、各学部により異なりますので、転部を希望する学部の学務係に問い合わせてください。

3 休学・退学

保護者と相談の上、クラス相談員または所属プログラム学務委員に申し出てください。

各申請用紙は、理学部学務係にあります。

4 欠席

いわゆる公欠制度はありません。

5 長期欠席

病気等で欠席しなければならない期間が2週間を超える場合は、長期欠席届（病気の場合は医師の診断書を添付）を提出してください。届出用紙は、理学部学務係にあります。

6 海外旅行届

海外旅行を行う場合は、学務情報システム上で渡航先や日程等の情報を登録し、「海外渡航計画書」を印刷して理学部学務係に提出してください。

7 掲示板

学生への連絡事項は、すべて掲示により周知しますので、1日1回は学務係掲示板および所属プログラム掲示板を見てください。掲示板を見なかったことによる不利益は自分で被らなければなりません。また、学務情報システムの「連絡通知」も1日1回は確認してください。携帯電話からメールシステムが利用できますので活用してください。

5. 教育職員免許状の取得について

理学部において取得することができる免許状の種類及び免許教科は、次のとおりです。

区分	免許状の種類	免許教科
理学部	中学校教諭一種免許状	数学，理科
	高等学校教諭一種免許状	数学，理科

※新潟大学大学院自然科学研究科博士前期課程に進学すると，専修免許状の取得が可能です。

教育職員免許状取得に必要な資格

免許状の種類 \ 所用資格	基礎資格	大学において修得することを必要とする科目の最低単位数
		教科及び教職に関する科目 (教科及び教科の指導法に関する科目， 教育の基礎的理解に関する科目等)
中学校教諭一種免許状	学士の学位を 有すること	59
高等学校教諭一種免許状		59

本学のカリキュラム上，教員免許状取得のためには，26～29 ページに示す「教科及び教職に関する科目」（教科及び教科の指導法に関する科目，教育の基礎的理解に関する科目等）の単位の修得が必要です。

免許状取得には，「教科及び教職に関する科目」の他に「一般教育科目」（教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目）の単位の修得が必要です。

中学校教諭免許状取得には，更に「介護等の体験」が必要です。

一般教育科目（教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目）

科目	単位数	開設授業科目	単位数		履修方法
			必修	選択	
日本国憲法	2	○日本国憲法	2		
体育	2	健康スポーツ科学講義 健康スポーツ科学講義a 健康スポーツ科学講義b		2 1 1	※左記の授業科目のうちから いずれか2単位修得のこと
外国語コミュニケーション	2	アカデミック英語入門L アカデミック英語入門R	1 1		※左記の授業科目2単位修得のこと
情報機器の操作	2	情報処理概論AⅠ 情報処理概論AⅡ 情報機器操作入門 UNIX リテラシー演習		2 2 2 2	※左記の授業科目のうちから いずれか2単位修得のこと

○印：免許状取得上の必修科目を示す。

教科及び教科の指導法に関する科目

	中学校一種免許状		高等学校一種免許状	
	教科に関する 専門的事項	各教科の指導法 (教科教育法)	教科に関する 専門的事項	各教科の指導法 (教科教育法)
数 学	代数学 幾何学 解析学 「確率論，統計学」 コンピュータ ◎上記の科目についてそ れぞれ1単位以上 計24単位以上	数学科教育法Ⅰ～Ⅳ 計8単位	代数学 幾何学 解析学 「確率論，統計学」 コンピュータ ◎上記の科目についてそ れぞれ1単位以上 計28単位	数学科教育法Ⅰ 2単位 数学科教育法Ⅱ～Ⅳ から2単位
			最低修得単位数を超えて履修した上記の科目 計4単位以上	
理 科	物理学 物理学実験 (コンピュータ活用を含 む) 化学 化学実験 (コンピュータ活用を含 む) 生物学 生物学実験 (コンピュータ活用を含 む) 地学 地学実験 (コンピュータ活用を含 む) ◎上記の科目についてそ れぞれ1単位以上 計24単位以上	理科教育法Ⅰ～Ⅳ 計8単位	物理学 化学 生物学 地学 ◎上記の科目についてそ れぞれ1単位以上 物理学実験 (コンピュータ活用を含 む) 化学実験 (コンピュータ活用を含 む) 生物学実験 (コンピュータ活用を含 む) 地学実験 (コンピュータ活用を含 む) ◎上記4実験科目のうち から1実験科目1単位 以上 計32単位以上	理科教育法Ⅰ 2単位 理科教育法Ⅱ 2単位 ※理科教育法Ⅲ，Ⅳは 高校免許状取得要件外 です。

「教科に関する専門的事項」の科目

中学・高校一種免許状(数学)

免許法施行規則の定める科目区分 開設授業科目	単位数
代数学	
○線形代数IA	1
○線形代数IB	1
○数学演習A	1
○数学演習B	1
代数入門A	2
代数入門B	2
代数系IA	1
代数系IB	1
代数系IIA	1
代数系IIB	1
幾何学	
○線形代数IIA	2
○線形代数IIB	2
○代数・幾何学序論A	1
○代数・幾何学序論B	1
幾何学IA	2
幾何学IB	2
幾何学IIA	1
幾何学IIB	1
トポロジーA	1
トポロジーB	1
解析学	
○微分積分学IA	1
○微分積分学IB	1
○微分積分学IIA	2
○微分積分学IIB	2
○解析学序論A	1
○解析学序論B	1
○集合と位相入門A	1
○集合と位相入門B	1
位相空間論A	1
位相空間論B	1
複素解析学IA	1
複素解析学IB	1
複素解析学IIA	1
複素解析学IIB	1
関数解析学A	1
関数解析学B	1
「確率論、統計学」	
実解析学A	2
実解析学B	2
確率論A	1
確率論B	1
統計学基礎1	1
統計学基礎2	1
コンピュータ	
計算機演習A	1
計算機演習B	1
数値解析A	1
数値解析B	1
計算数理A	1
計算数理B	1

○は免許状取得のための必修科目を示す。
卒業要件単位の必修とは異なる場合があります。

中学・高校一種免許状(理科)

免許法施行規則の定める科目区分 開設授業科目	単位数
物理学	
○物理学基礎D	2
物理学基礎A I	2
物理学基礎B I	2
物理学基礎A II	2
物理学基礎B II	2
解析力学	2
基礎ベクトル解析	2
電磁気学IA	1
電磁気学IB	1
電磁気学IIA	1
電磁気学IIB	1
熱力学A	1
熱力学B	1
振動論と微分方程式	2
波動とフーリエ解析	2
量子力学IA	2
量子力学IB	2
量子力学IIA	2
量子力学IIB	2
統計力学IA	2
統計力学IB	2
統計力学IIA	2
統計力学IIB	2
特殊相対論A	1
特殊相対論B	1
基礎量子力学	2
地球流体力学	2
物理学実験	
物理学基礎実習a ※	1
物理学基礎実習b ※	1
物理学実験A	2
物理学実験B	2
物理学実験C	2
物理学実験D	2
化学	
化学基礎A ※	2
化学基礎B ※	2
化学基礎C ※	2
基礎生物化学	2
分析化学I	2
分析化学II	2
無機化学I	2
無機化学II	2
無機化学III	2
有機化学I	2
有機化学II	2
有機化学III	2
有機化学IV	2
化学熱力学	2
化学統計力学 I	2
基礎量子力学	2
量子化学	2
化学反応論	2
化学統計力学II	2
生体分子化学I	2
生体分子化学II	2
有機機器分析	2
生命科学のための基礎化学	2
生物化学 I (理)	2
地球環境化学	2
物質反応化学	2
エネルギー物質科学	2
物質科学B	2
海洋化学	2
化学実験	
化学基礎実習a ※	1
化学基礎実習b ※	1
地球化学分析法	1
水質化学分析法	1
生体分子機能学実習	2

○は免許状取得のための必修科目を示す。
卒業要件単位の必修とは異なる場合があります。

免許法施行規則の定める科目区分 開設授業科目	単位数
生物学	
生物学基礎A ※	2
生物学基礎B ※	2
基礎植物学	2
基礎細胞生物学	2
基礎細胞遺伝学	2
分子生物学	2
生物化学 II (理)	2
細胞生物学 I	2
細胞生物学 II	2
生体情報学	2
動物生理学 I	2
動物生理学 II	2
動物生理学 III	2
系統動物学	2
発生生物学 I	2
発生生物学 II	2
植物生理学 I	2
植物生理学 II	2
植物生理学 III	2
生態学	2
保全遺伝学	2
多様性生物学B	2
進化生物学	2
機能形態学A	2
機能形態学B	2
水圏生態学	2
適応生物学	2
生物学実験	
生物学基礎実習a ※	1
生物学基礎実習b ※	1
臨海実習I	2
海洋生物学実験	1
地学	
地学基礎A ※	2
地学基礎B ※	2
地学基礎C ※	2
地質学入門a	1
地質学入門b	1
構造地質学入門	1
地層・古生物学入門	2
鉱物・岩石学入門	2
地質調査法I	2
地質調査法II	1
岩石学A	1
テクトニクス	2
鉱物学A	1
地層学A	1
古生物学A	1
鉱物学B	1
鉱物学C	1
岩石学B	1
岩石学C	1
構造地質学	2
地層学B	1
古生物学B	1
地史学A	1
地史学B	1
海洋地質学A	1
海洋地質学B	1
環境物理学	2
環境気象学	2
地学実験	
地学基礎実習a ※	1
地学基礎実習b ※	1
地質調査法実習I	2
地質調査法実習II	1
地質調査法実習III	1
岩石学実験I	1
野外実習A	4
野外実習B	2
岩石学実験II	1

いずれか1科目以上

いずれか1科目以上

いずれか1科目以上

いずれか1科目以上

教育の基礎的理解に関する科目等

下記の表に記載されているとおりの科目を必ず履修してください。

	授業科目名	単位数		学年指定
		中一	高一	
教育の基礎的理解に関する科目	教育学概論	2	2	2～4 年
	教職入門	2	2	1 年
	教育の制度と経営	2	2	2～4 年
	教育・学校心理学 B	2	2	1 年
	特別支援教育概論	2	2	3・4 年
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳指導法	2		2～4 年
	教育課程及び総合的な学習の時間の指導法 B	2	2	2～4 年
	教育方法及び特別活動の指導法 B	2	2	2 年
	生徒指導 B	2	2	2・3 年
	教育相談・進路指導 B	2	2	2・3 年
教育実践に関する科目	中等教育実習Ⅱ	3	3	4 年
	中等教育実習Ⅲ	2		4 年
	教職実践演習（中等）	2	2	4 年
計		27	23	

教育実習

	中学校一種	高等学校一種	備考
単位数	5 単位	3 単位	
事前・事後指導	事前指導 事後指導		4 月～5 月予定 11 月予定
実習期間	4 週間 中学校実習 高等学校実習	2 週間 高等学校実習	出身学校等
受講資格	4 年次学生		
受講要件	<u>3 年次終了までに、以下の科目の単位を修得済みであること。</u> 教職入門 教育・学校心理学 B、特別支援教育概論（※1） 生徒指導 B、教育相談・進路指導 B（※2） 教科教育法（※3）		（※1）3 年次終了までに「教育・学校心理学 B」又は「特別支援教育概論」のうち、いずれか最低 1 科目 2 単位を修得する必要があります。 （※2）3 年次終了までに「生徒指導 B」及び「教育相談・進路指導 B」の 2 科目（各 2 単位）をいずれも修得する必要があります。 （※3）教科教育法については、3 年次終了までに 1 科目 2 単位を修得していれば、教育実習を受講できます。
受講手続	3 年次に、学生本人が実習校（出身学校等）へ依頼する		

◎実習教科と免許教科は同じことが原則となります。

◎「数学科教育法Ⅰ」は高等学校一種免許状（数学）取得希望者の必修科目です。

◎「理科教育法Ⅲ」「理科教育法Ⅳ」は高等学校一種免許状（理科）取得要件外です。

3 年次 4 月にガイダンスを行いますので、教育職員免許状取得希望者は、必ず出席してください。

○介護等の体験

実施方法や体験施設等についてのガイダンスを 2 年次の秋（11 月頃）に行います。

また、事前指導を 3 年次の春（4 月頃）に行いますので、中学校教諭免許状取得希望者は必ず出席してください。

※ 教育職員免許状に関するガイダンス日程や、免許状取得について変更が生じた場合は、掲示にて通知します。

6. 学芸員の資格取得について

1 学芸員の職務

学芸員とは、博物館法に基づく博物館の専門職員であって、博物館資料の収集、保管、展示および調査研究、その他これに関連する事業について専門的事項をつかさどる者をいいます。

2 学芸員の資格

学士の学位を有する者で、大学において文部科学省令で定める博物館に関する科目の単位を修得した者は、学芸員となる資格があります。

3 博物館に関する科目及び単位数

文部科学省令で定める大学において修得すべき博物館に関する科目の単位と、本学で開講される科目との関係は、次のとおりです。

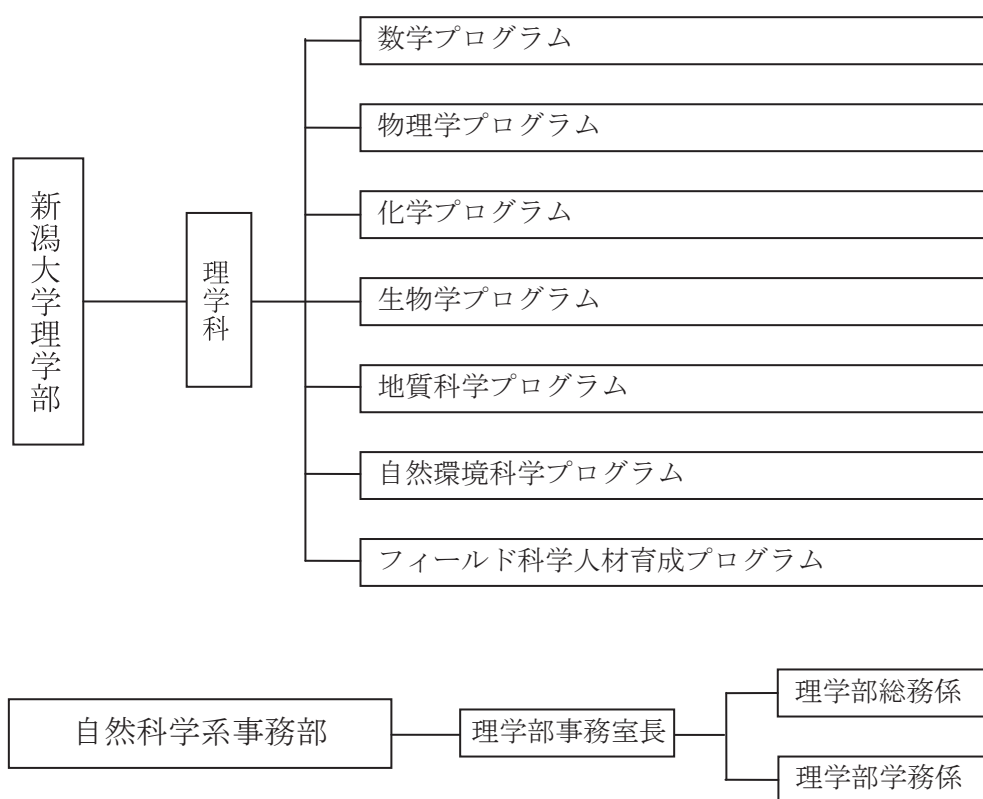
文部科学省令の科目・単位数		左記に対応する 授業科目・単位数		履修 単位数	標準 履修 年次	備考 (開設 学部)
科目名	単位数	授業科目名	単位数			
生涯学習概論	2	生涯学習概論	2	2	2年	Gコード
博物館概論	2	博物館概論	2	2	2年	人文学部
博物館経営論	2	博物館経営論	2	2	3年	人文学部
博物館資料論	2	博物館資料論	2	2	3年	人文学部
博物館資料保存論	2	博物館資料保存論	2	2	3年	人文学部
博物館展示論	2	博物館展示論	2	2	3年	人文学部
博物館教育論	2	博物館教育論	2	2	2年	人文学部
博物館情報・メディア 論	2	博物館情報・メディ ア論	2	2	2年	人文学部
博物館実習	3	博物館実習	3	3	4年	人文学部
合計	19	合計		19		

【備考】

- ①上記必修科目のほかに、理学部で開設されている「臨海実習Ⅰ」、「環境生物学野外実習Ⅲ」、「系統動物学」、「海洋生物学実験」、「地層・古生物学入門」、「古生物学Ⅰ」などを選択して修得することが望ましい。
- ②上記必修科目（博物館実習を除く8科目）は、博物館実習を4年次に履修することから、必ず3年次までに修得してください。
- ③博物館実習についてのガイダンスを、3年次の10月及び12月上旬に行います（掲示にて通知）。学芸員資格取得希望者は必ず出席してください。
- ④必修科目の時間割のために指定年次に受講できない場合は、学務係に相談してください。
- ⑤学芸員資格取得のための科目（Gコード科目を除く）は卒業要件に含まれません。

※ 新潟大学の大学院進学後に、定員に余裕がある場合には、授業担当者の許可を得て、学部の授業を履修することができます（博物館実習を含む）。

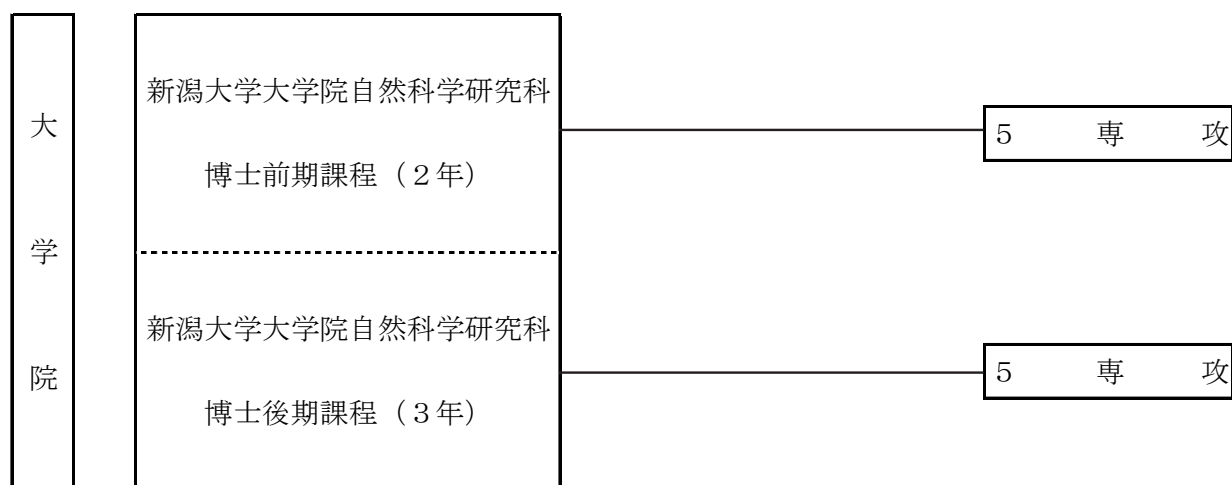
7. 理学部の組織



8. 大学院の組織

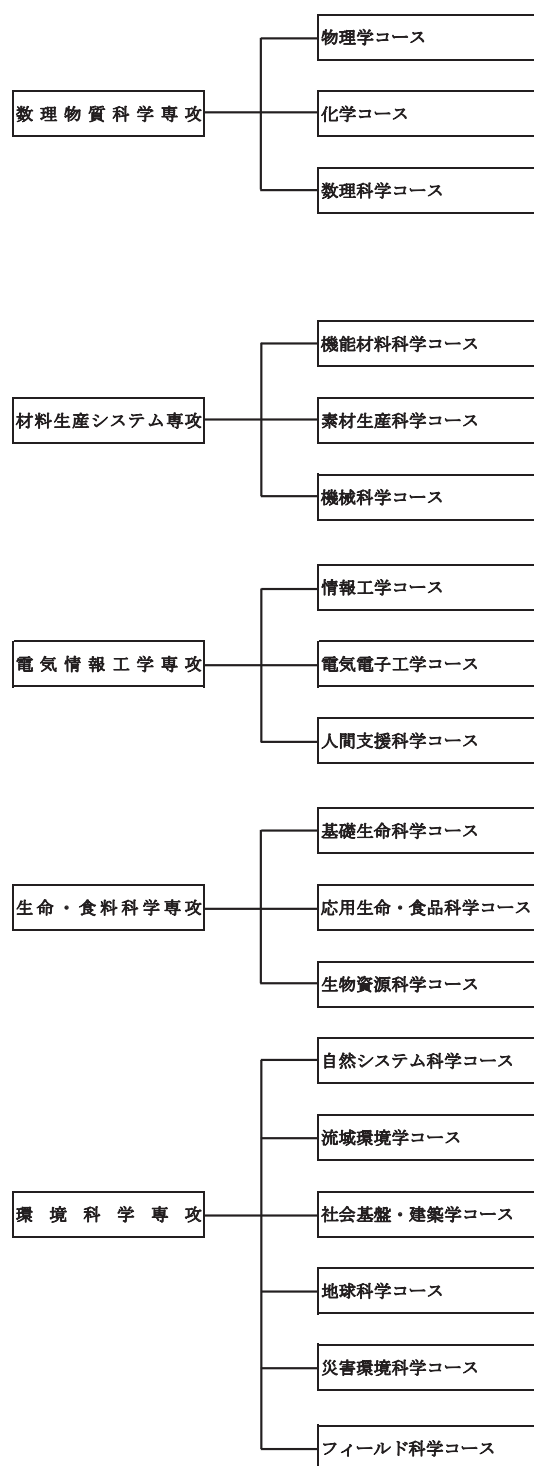
新潟大学では、平成7年度から従来の自然科学研究科博士後期課程の下に、大学院理学研究科、工学研究科及び農学研究科を統合して「自然科学研究科博士前期課程」を設置しました。

この改組により、新しい枠組みで教育研究分野を体系化し、自然科学系学問分野の総合化・学際化に応じられるよう各専攻に横断性を持たせると同時に、博士前期課程と博士後期課程における教育研究のより一層の連続性・継続性が図れるようになりました。

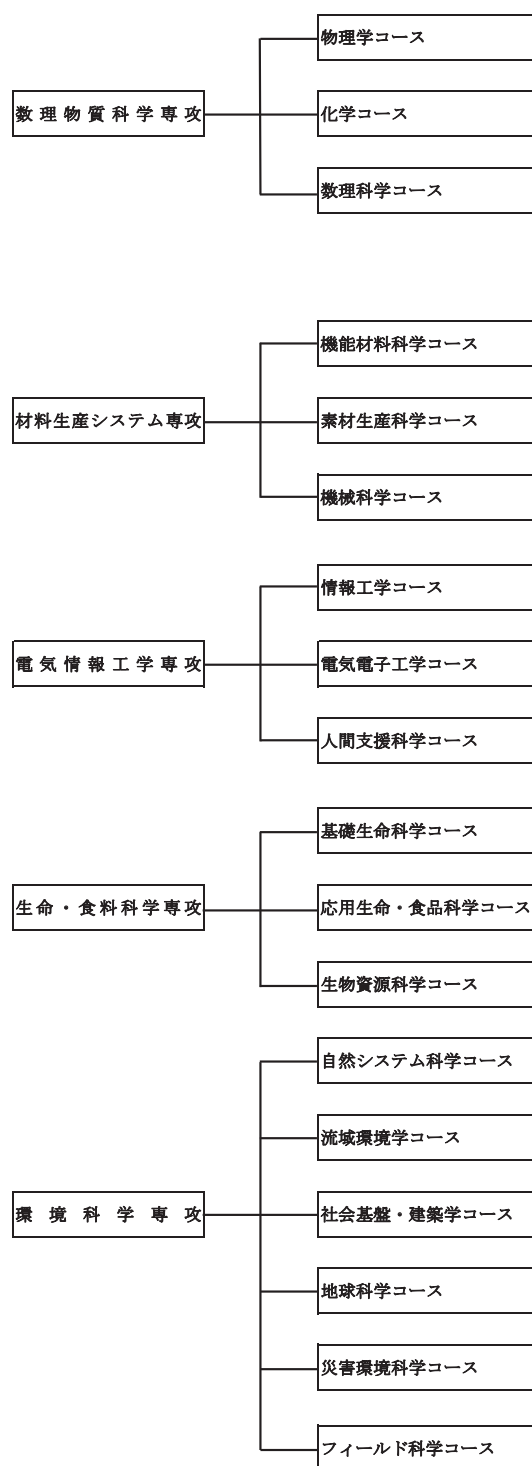


9. 自然科学研究科の構成

(1) 博士前期課程



(2) 博士後期課程



10. 教授会

新潟大学の全体組織については「学生便覧」等に示してありますが、その構成の一つとして本学部には「教授会」が置かれ、学部の管理、運営に関する事項等を審議し、方針を決定する機関となっています。

特に、学生諸君に直接関わりの深い問題については、次の委員会が扱います。

1 学務委員会

事項 ① カリキュラム、時間割、試験の実施

② 教育実習・教員職員免許の関係

③ 学生の身分異動の関係

④ 特別講義

⑤ 奨学生の推薦

⑥ 部外活動及び福利厚生

⑦ 自治会・学生相談

⑧ その他学務関係全般

2 就職・進路指導委員会

事項 就職及び進学等の進路指導に関する事項

3 判定委員会

事項 学生の入学及び卒業の認定並びに主専攻プログラムの配属の決定に関する事項

11. 事務

本学部の事務を処理するために理学部総務係と理学部学務係があります。

特に、学生生活を送る上で日常的に関わりの深い理学部学務係は、学務委員会等と密接な連携のもとに諸般の事務処理にあたっています。

理学部学務係の事務分掌

- (1) 教育課程の編成及び授業実施に関すること。
- (2) 学生の募集及び入学試験に関すること。
- (3) 入学・卒業、その他学生の学籍に関すること。
- (4) 学生の修学等を支援するために必要な助言・指導、その他の援助に関すること。
- (5) 学位に関すること。
- (6) 学籍その他の記録に関すること。
- (7) 外国人留学生に関すること。
- (8) 教育実習及び教育職員免許に関すること。
- (9) 課外活動及び福利厚生に関すること。
- (10) 就職及び卒業後の進路に関すること。
- (11) 諸証明に関すること。
- (12) 所掌事務の調査及び統計に関すること。
- (13) その他学務関係事務に関すること。

学業及び学生生活を送る上で様々な問題が生じた時は、遠慮なくクラス相談員や主専攻相談員に積極的に相談してください。

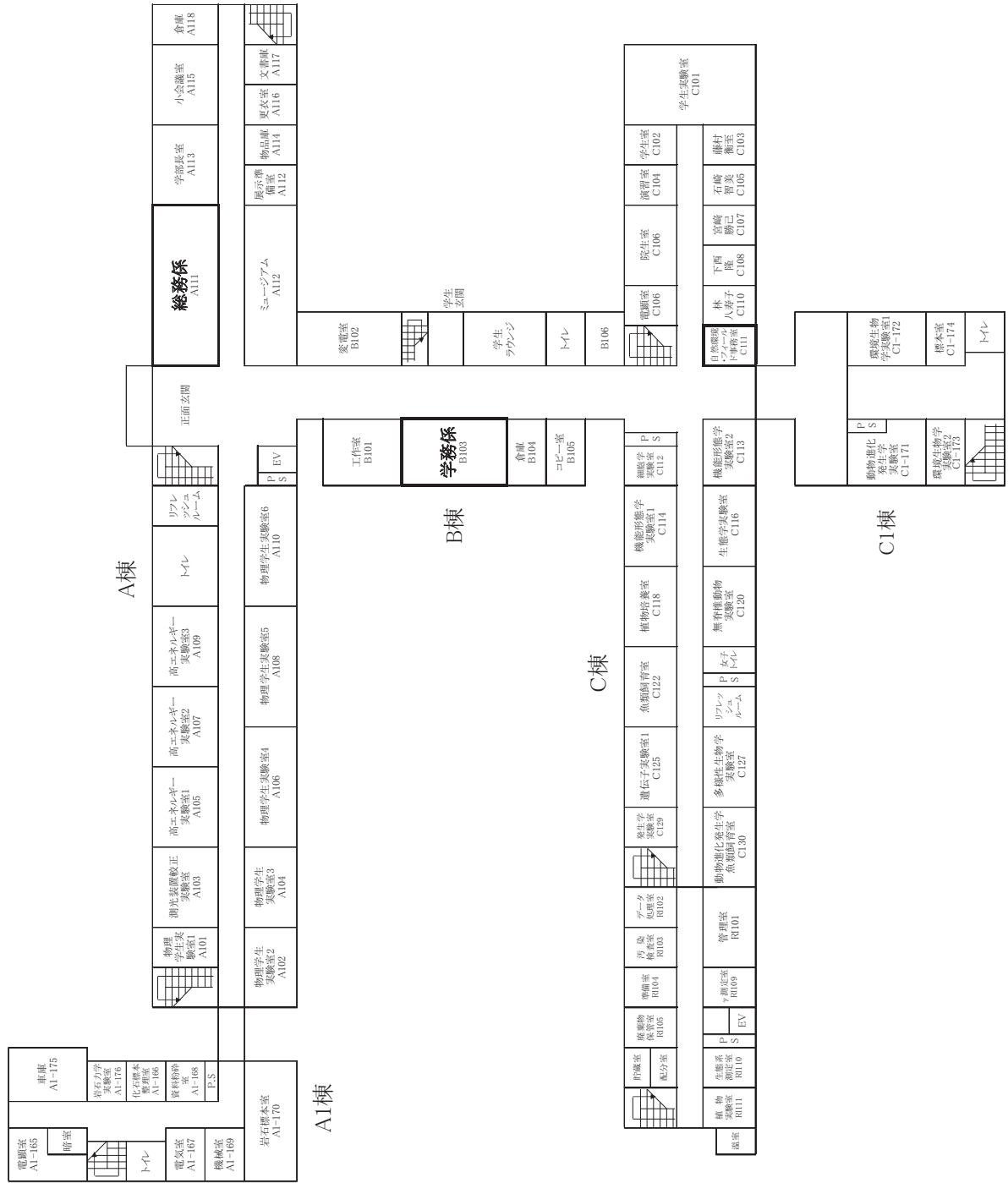
12. 理学部主専攻プログラム関係教員一覧

	分野等	氏名	カナ	職名	研究室		分野等	氏名	カナ	職名	研究室
数学プログラム	解析学	三浦 毅	ミウラ タケシ	教授	理学部A棟 503	地質科学プログラム	岩石・鉱物学	小西 博巳	コニシ ヒロミ	教授	理学部A棟 404
		渡邊 恵一	ワタナベ ケイイチ	教授	理学部A棟 501			サティッシュ・マール・マト・スー・ダン	教授	理学部A棟 412	
		應和 宏樹	オウノ ヒロキ	准教授	理学部A棟 511			高澤 栄一	タカザワ エイチ	教授	理学部A棟 415
		大井 志穂	オオイ シホ	助教	理学部A棟 508			高橋 俊郎	タカハシ トシロウ	准教授	生命環境棟 105-2
	代数・幾何学	小島 秀雄	コジマ ヒデオ	教授	情報理工棟 404		構造地質学	豊島 剛志	トヨシマ ツヨシ	教授	生命環境棟 106-2
		鈴木 有祐	スズキ ユウスケ	准教授	理学部A棟 505			小林 健太	コバヤシ ケンタ	講師	生命環境棟 106-1
		星 明考	ホシ アキラ	准教授	理学部A棟 509			植田 勇人	ウエダ ユウト	准教授	理学部A棟 408
		折田 龍馬	オリタ リュウマ	助教	理学部A棟 512			松岡 篤	マツオカ アツシ	教授	生命環境棟 406-2
	応用数学	家富 洋	イヘミ ヒロシ	教授	情報理工棟 510		堆積・古生物学	栗田 裕司	クリタ ヒロシ	准教授	生命環境棟 406-1
		田中 環	タナカ タマキ	教授	情報理工棟 509			栗原 敏之	クリハラ トシユキ	准教授	理学部A棟 410
山田 修司		ヤマダ シュウジ	教授	情報理工棟 405	椎野 勇太	シノ ユウタ		准教授	理学部A棟 401		
蛭川 潤一		ヒルカワ ジュンイチ	准教授	情報理工棟 506	ト部 厚志	ウラベ アツシ		教授	災害研 210		
	劉 雪峰	リュウ シェウフォン	准教授	理学部A棟 506	災害・環境地質学	片岡 香子	カタオカ キョウコ	准教授	災害研 209		
	数学プログラム事務室		理学部A棟 516	渡部 直喜		ワタナベ ナオキ	准教授	災害研 211			
				地質科学プログラム事務室			理学部A棟 406				
物理学プログラム	粒子・宇宙物理科学	小池 裕司	コイケ ユウジ	教授	理学部A棟 214	自然環境科学プログラム	地球環境科学	浮田 甚郎	ウキタ シンロウ	教授	環境エネ棟 411
		松尾 正之	マツオ マサユキ	教授	理学部A棟 212			本田 明治※	ホンダ アキハル	教授	環境エネ棟 409
		浅賀 岳彦	アサカ タケヒコ	教授	理学部A棟 210			奈良間 千之※	ナラマ チユキ	教授	環境エネ棟 408
		江尻 信司	エシリ シンジ	准教授	理学部A棟 208			宮崎 勝己	ミヤザキ カツミ	教授	理学部C棟 107
		大坪 隆	オオツボ カン	准教授	物質生産棟 259		環境生物学	林 八寿子	ハヤシ ヤスコ	准教授	理学部C棟 110
		中野 博章	ナカノ ヒロアキ	准教授	理学部A棟 201			藤村 衡至	フジムラ コウジ	助教	理学部C棟 103
		西 亮一	ニシ リウイチ	准教授	理学部A棟 217			石崎 智美※	イシザキ サトミ	助教	理学部C棟 105
		早坂 圭司	ハヤサカ ケイシ	准教授	理学部A棟 204			物質循環科学	副島 浩一	ソエジマ コウイチ	教授
		遊佐 洋右	ユサ ヨウスケ	助教	理学部A棟 203		松岡 史郎		マツオカ シロウ	教授	物質生産棟 651-1
		渡辺 一也	ワタナベ カズヤ	助教	理学部A棟 209		白井 聡		ウスイ サトシ	准教授	理学部C1棟 378
	佐藤 優太郎	サトウ ユウタロウ	助教		則末 和宏※		ノリスエ カズヒロ		准教授	理学部C1棟 375	
	物性科学	大野 義章	オノ ヨシアキ	教授	物質生産棟 702			自然環境科学プログラム事務室		理学部C棟 111	
		摂待 力生	セツタイ リキオ	教授	物質生産棟 703		奈良間 千之	ナラマ チユキ	教授	環境エネ棟 408	
		吉森 明	ヨシモリ アキラ	教授	物質生産棟 704-2		本田 明治	ホンダ アキハル	教授	環境エネ棟 409	
		石川 文洋	イシカワ フミロ	准教授	物質生産棟 705		松岡 史郎※	マツオカ シロウ	教授	物質生産棟 651-1	
		奥西 巧一	オクニシ コウイチ	准教授	物質生産棟 704-1		植田 勇人※	ウエダ ユウト	准教授	理学部A棟 408	
		根本 祐一	ネモト コウイチ	准教授	物質生産棟 710		栗原 敏之※	クリハラ トシユキ	准教授	理学部A棟 410	
		大村 彩子	オオムラ アヤコ	准教授	物質生産棟 707		椎野 勇太※	シノ ユウタ	准教授	理学部A棟 401	
		赤津 光洋	アカツ ミツヒロ	助教	物質生産棟 710		則末 和宏	ノリスエ カズヒロ	准教授	理学部C1棟 375	
		廣瀬 雄介	ヒロセ ユウスケ	助教	物質生産棟 703		石崎 智美	イシザキ サトミ	助教	理学部C棟 105	
		物理学プログラム事務室		理学部A棟 220	野口 里奈	ノグチ リナ	助教	理学部A棟 427			
物理・量子化学	大島 範和	オオトリ ノリカズ	教授	情報理工棟 306	フィールド科学人材育成プログラム	農学部	権田 豊	ゴンダ ユカ	教授	農学部 A316	
	生駒 忠昭	イコマ タダアキ	教授	物質生産棟 602			関島 恒夫	セキジマ ツネオ	教授	生命環境棟 603-2	
	丸山 健二	マルヤマ ケンジ	教授	情報理工棟 309			中田 誠	ナカタ マコト	教授	生命環境棟 603-4	
	三浦 智明	ミウラ トモアキ	助教	物質生産棟 609			箕口 秀夫※	ミグチ ヒデオ	教授	農学部 A313	
	無機・分析化学	梅林 泰宏	ウメハヤシ ヤスヒロ	教授		物質生産棟 605	ウタカ・アントリウ※		准教授	農学部 A413	
		佐藤 敬一	サトウ ケイイチ	准教授		物質生産棟 604	村上 拓彦※	ムラカミ タケヒコ	准教授	農学部 A312	
		後藤 真一	ゴドウ シンイチ	准教授		理学部C棟 322	森口 喜成	モリグチ ヨシナリ	准教授	農学部 C003	
		長谷川 英悦	ハセカワ エイユツ	教授		物質生産棟 555	吉川 夏樹※	ヨシカワ ナツキ	准教授	農学部 A412	
	有機化学	俣野 善博	マノ ヨシヒロ	教授		物質生産棟 603	永野 博彦	ナガノ ヒロヒコ	助教	農学部	
		岩本 啓	イワモト ヒロメ	准教授		物質生産棟 601	柴田 嶺	シバタ レイ	助教	農学部 A314	
田山 英治		タヤマ エイジ	准教授	物質生産棟 616		ト部 厚志※	ウラベ アツシ	教授	災害研 210		
生化学		古川 和広	フルカワ カズヒロ	教授		理学部C棟 228	河島 克久※	カワシマ カツヒサ	教授	災害研 207	
	中馬 吉郎	チュウマン ヨシロウ	准教授	理学部C棟 229		西井 稜子	ニシイ リョウコ	准教授	災害研 208		
	共基セ	古川 貢	フルカワ コウ	准教授		環境エネ棟 311	渡部 直喜※	ワタナベ ナオキ	准教授	災害研 211	
		化学プログラム事務室		理学部C棟 313		安田 浩保※	ヤスタ ヒロキス	准教授	環境エネ棟 213		
生化学・分子生物学	長東 俊治	ナツカ シュンジ	教授	生命環境棟 703-3		佐渡自然共生科学センター	安東 宏徳	アントウ ヒロリ	教授	理学部C1棟 275	
	伊東 孝祐	イトウ コウスケ	准教授	生命環境棟 705			永田 尚志※	ナガタ ヒサシ	教授	生命環境棟 603-3	
	動物学	前野 貢	マエノ シツク	教授			生命環境棟 303-2	阿部 晴恵※	アベ ハルエ	准教授	農学部 A218
		井筒 ゆみ	イヅツ ユミ	教授			生命環境棟 303-1	飯田 碧	イダ ミドリ	准教授	理学部C1棟 276
		杉本 健吉	スギモト ケンキチ	准教授			生命環境棟 306-1	岸本 圭子※	キシモト ケイコ	准教授	生命環境棟 105
		藤間 真紀	トウマ マキ	助教	生命環境棟 306-4		豊田 光世	トヨダ ミツヨ	准教授	生命環境棟 105	
	植物学	西川 周一	ニシカワ シュウイチ	教授	理学部C棟 219		本間 航介	ホンマ コウスケ	准教授	農学部 A218	
		酒井 達也	サカイ タツヤ	教授	生命環境棟 703-1		満尾 世志人	ミツオ ヨシト	准教授	生命環境棟 105	
		岩崎 俊介	イワサキ トシスケ	准教授	理学部C棟 217		大森 紹仁	オオモリ アキヒト	助教	理学部C1棟 276	
		加藤 朗	カウ アキラ	准教授	理学部C棟 215		フィールド科学人材育成プログラム事務室		理学部C棟 111		
池内 桃子	イケウチ モモコ	准教授	理学部C棟 224								
	佐渡自然共生科学センター	安東 宏徳※	アントウ ヒロリ	教授	理学部C1棟 275		注1)	※は副担当教員を表す			
		飯田 碧※	イダ ミドリ	准教授	理学部C1棟 276	注2)	「超域」は研究推進機構超域学術院の所属を示す				
		大森 紹仁※	オオモリ アキヒト	助教	理学部C1棟 276	注3)	「共基セ」は研究推進促進機構共用基盤センターの所属を示す				
		生物学プログラム事務室		理学部C棟 208							

13. 理学部講義室等案内図

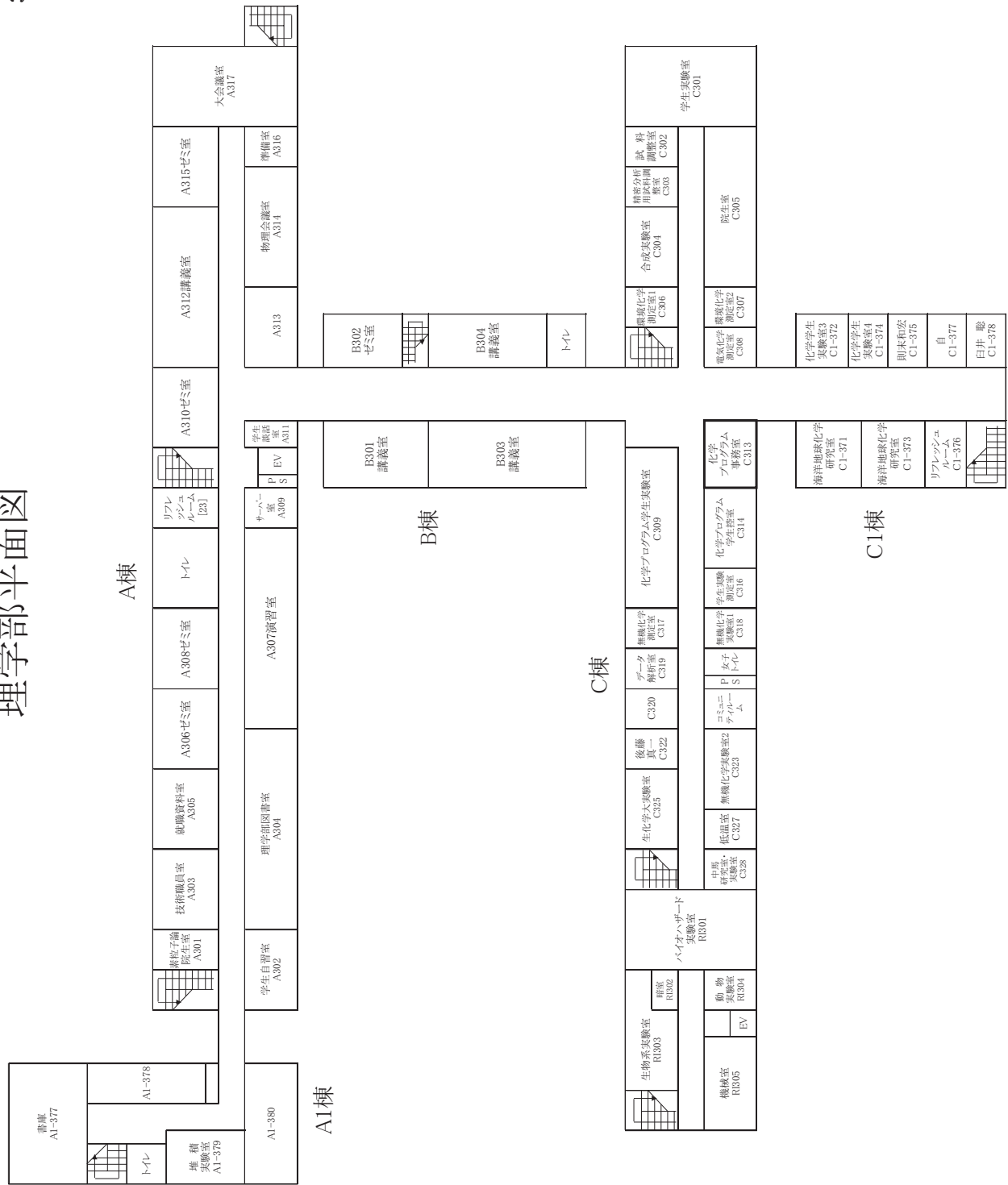
1 階

理学部平面図



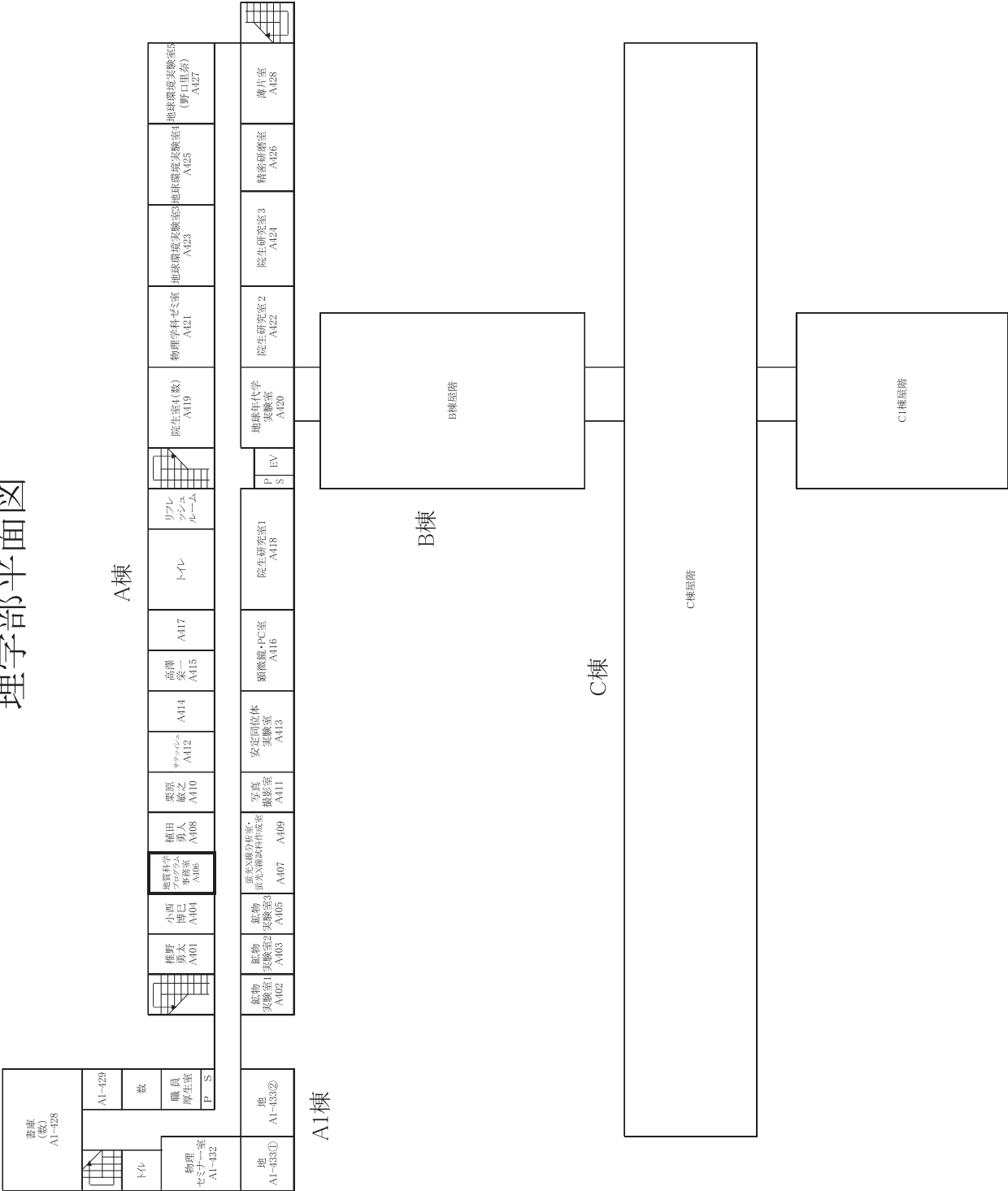
理学部平面図

3階



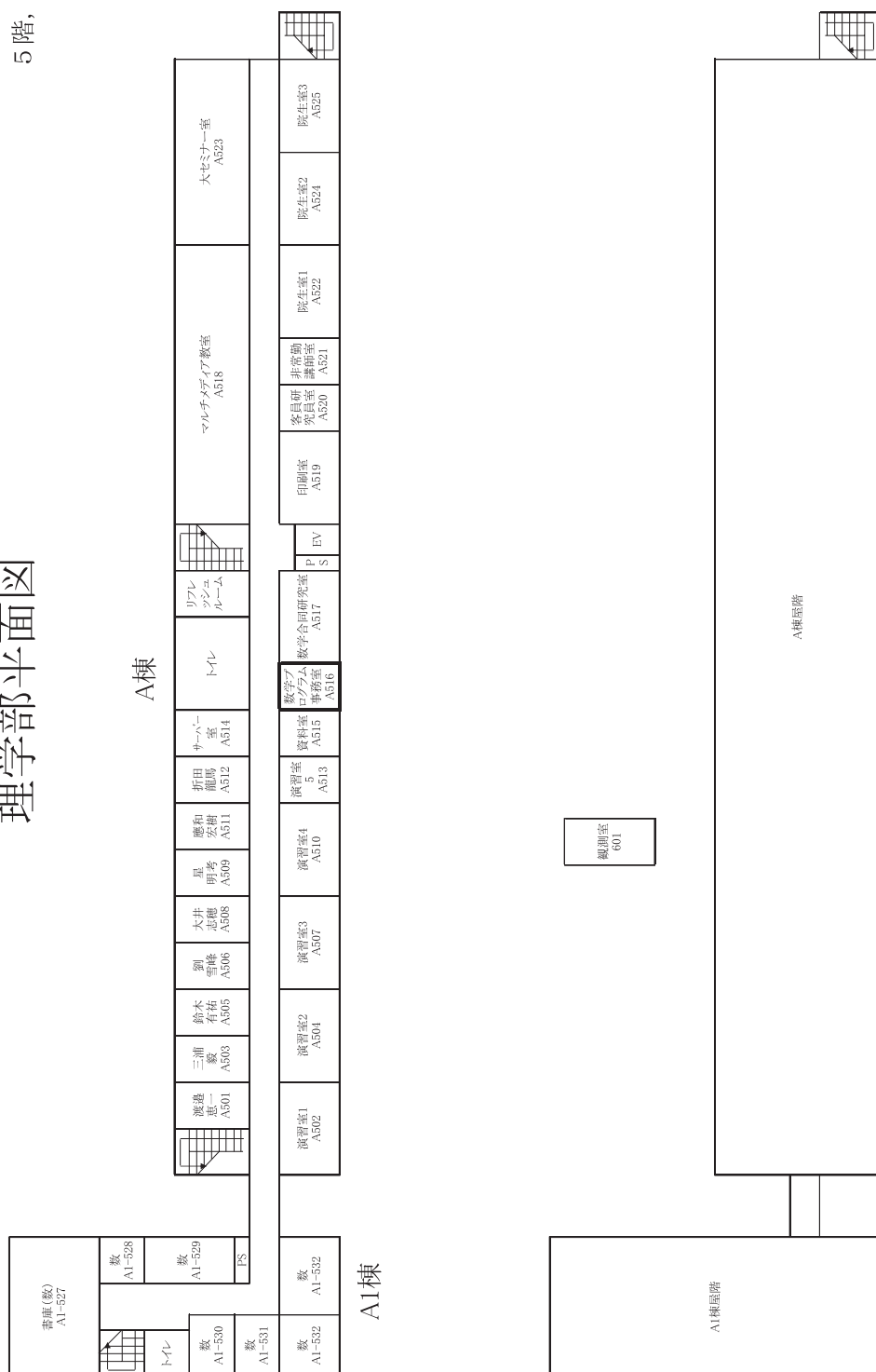
理学部平面図

4階



图平面部理学

5階, 屋階



14. 理学部周辺案内図

